

避難者心理状態に関する総合評価 報告書

2015年9月

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究）開発
コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン 研究開発プロジェクト
「広域避難者による多居住・分散型ネットワーク・コミュニティの形成」

総合評価システム開発グループ

早稲田大学 都市・地域研究所
東洋大学社会学部 安藤研究室

資料4：避難者の心理的状态に関する総合評価報告書

1. 調査目的
2. 調査方法
 - 1) 調査対象者
 - 2) 調査期間
 - 3) 調査手続きおよび回収率
 - 4) 調査項目
3. 調査結果
 - 1) 対象者の属性（居住地域，形態等）
 - 2) 震災前の状況
 - 3) 被害状況
 - 4) 震災発生前と現在の状況
 - 5) 仮設住宅者のコミュニケーションの様子
 - 6) 借り上げ住宅者のコミュニケーションの様子
 - 7) 自由記述欄への回答

APPENDIX A 単純集計結果

APPENDIX B 質問紙

評価グループ

安藤清志（東洋大学）
堀毛一也（東洋大学）
水田恵三（尚絅学院大学）
飛田操（福島大学）
渡辺浪二（フェリス女学院大学）
堀毛裕子（東北学院大学）
佐藤史緒（東洋大学）
結城裕也（立教大学）

1. 調査目的

2011 年 3 月に東日本大震災が発生して以来、福島県浪江町は東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染により避難指示区域となっており、町民は未だに避難生活を余儀なくされている。浪江町民の約 7 割は福島県内に避難しており、主に福島市や二本松市、いわき市で生活を送っている（H27 年 4 月現在）。今回、ネットワーク・コミュニティ構築に向けたプロジェクトを実践するにあたり、県内に避難している浪江町民を対象にして心理学の視点から調査を行い、長期の避難生活が住民の心理的状态にどのような影響を与えているのかを把握することとした。

2. 調査概要

1) 調査対象者

浪江町民 606 名（男性 276 名、女性 274 名、性別未回答 56 名、年代 20 代～80 歳以上）

2) 調査期間

2014 年 3 月下旬～5 月末

3) 調査手続きおよび回収率

調査用紙の配布は、①さまざまな行事や会合において住民に直接配付する、②仮設住宅および借上げ住宅の自治会長に調査用紙の配付を依頼する、という方法でおこなった。①に関しては、25 年度末に実施された「みらい号」による「バス中交流会」に参加させていただき、帰路、参加者に調査用紙を配付した（約 60 部）。②に関しては、3.11 復興の集いに参加していた自治会長に直接配付を依頼した（約 600 部）ほか、残りの自治会長には文書にて配布を依頼し、協力が得られた場合には、必要部数を送付した。回答者には、回答した質問紙を郵送にて指定された宛先に送付するように依頼した。結果、2014 年 3 月下旬～5 月末に 1050 部を配布、同年 12 月末までに 606 部を回収した（回収率 58%）。

4) 調査項目（詳細は APPENDIX B 参照）

(1) 住宅の所有形態および所在地

(2) 震災前の生活

①住所および所有形態

②家族人数、職業、居住年数

③健康状態

④生活満足度

⑤ソーシャル・サポート尺度（6 項目）

(3) 被害と避難

①被害の程度

②犠牲者の有無

③現在の場所に居住するまでの期間

④転居回数

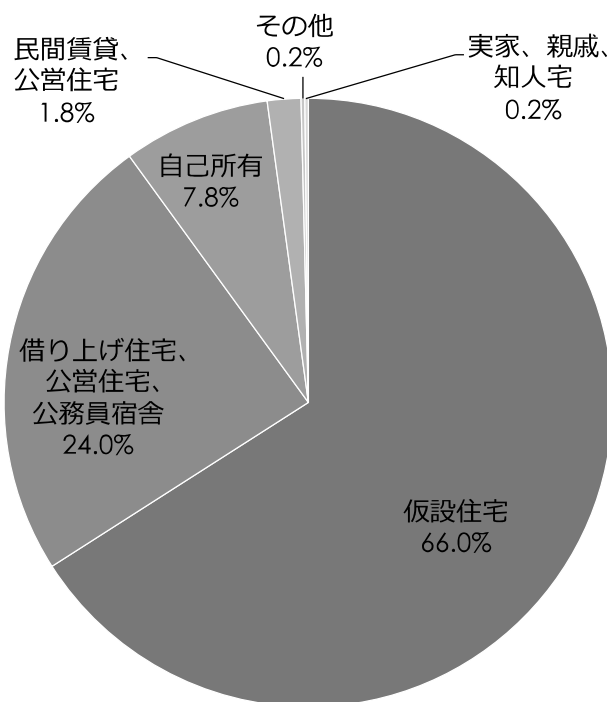
- (4) 現在の生活状況
 - ①家族人数
 - ②ソーシャル・サポート尺度 (6 項目)
 - ③精神健康度(GHQ-12)
 - ④生活満足度
 - ⑤主観的幸福感尺度 (3 項目)
 - ⑥集団アイデンティティ
- (5) 心理的ウェルビーイング尺度 12 項目 (自己受容, 肯定的人間関係, 自律性, 環境制御, 人生目的, 人格的成長, 各 2 項目)
- (6) 生活の変化 (7 項目) 自然に親しむ機会, 好きな食べ物を食べる機会, 家族との団らんを楽しむ機会, 自由に買い物をする機会, 身体を動かすこと, など。
- (7) 社会的活動性 4 項目 (仮設住宅住民)
 - ①杉内仮設におけるなかよし号運行に関する質問
 - ②将来の居住希望
- (8) 社会的活動性 4 項目 (仮設住宅以外)
 - ①将来の居住希望
- (9) 困っていること, 不満 (自由記述)
- (10) 楽しみにしている事, 生きがいを感じる事 (自由記述)

3. 調査結果

1) 調査対象者の属性

1-1) 調査対象者の所有形態

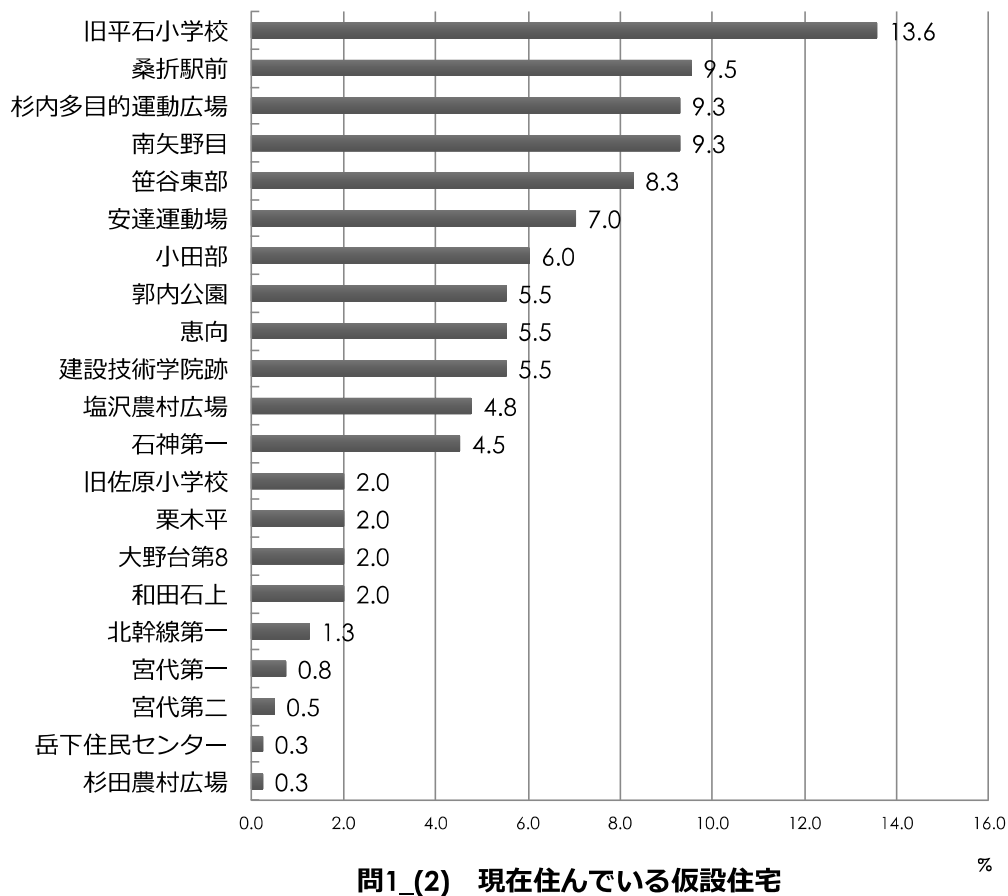
現在居住している住宅の所有形態は、主に、仮設住宅住民が 370 名（66.0%）、借り上げ住宅・公営住宅・公務員宿舎の住民が 135 名（24.1%）、自己所有 44 名（7.8%）であった（問 1）。なお、以下の一部の分析では、ここでの分類に基づいて、「仮設住宅」、「借上げ住宅等」、「自己所有」各グループ間の比較を行う。



問1 現在住んでいる住宅の所有形態

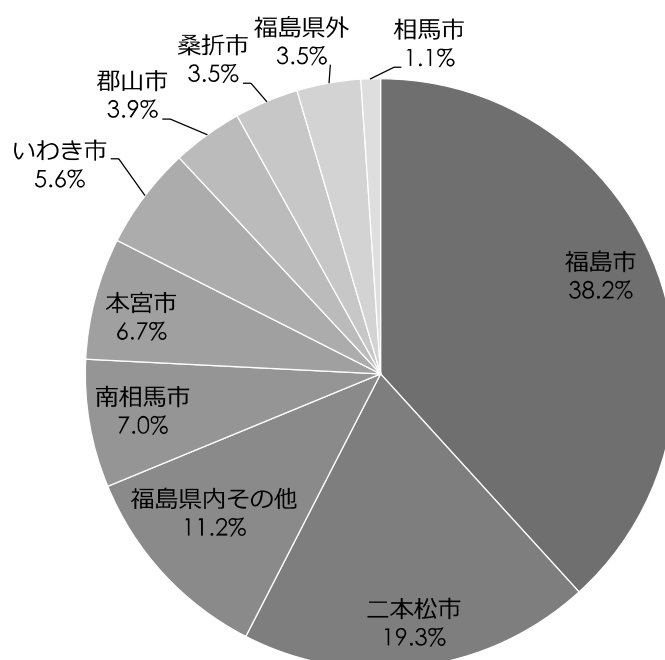
1-2) 仮設住宅居住者の居住地域

調査回答者の仮設住宅の所在地は、二本松市が最も多かった（46.2%）。以下、福島市（22.1%）、本宮市（20.1%）、桑折町（9.5%）、相馬市（2.0%）であった（問 1(1)）。各所在地にある仮設住宅ごとの回答者数は以下の通りである（問 1_(2)）。



1-3) 仮設住宅居住者以外の居住地域

仮設住宅居住者以外の居住地域は、福島市が最も多く（38.2%）、以下、二本松市（19.3%）、福島県内その他（11.2%）、南相馬市（7.0%）、本宮市（6.7%）であった（問1(1)）。



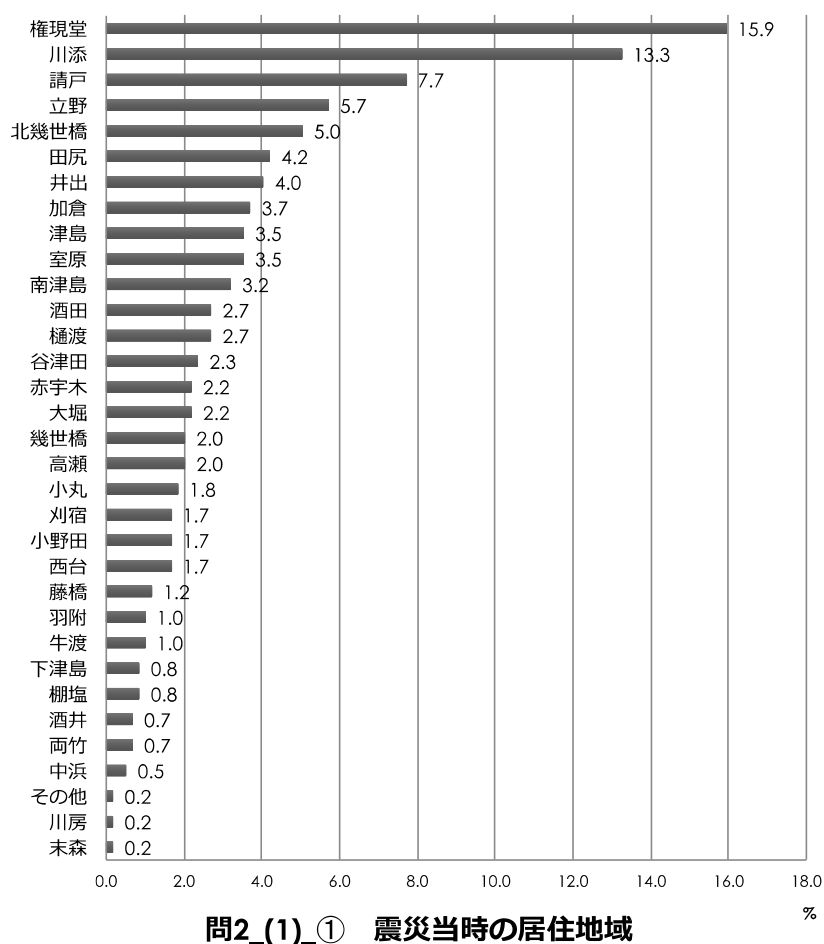
問1_(1) 現在住んでいる住宅がある市町村（仮設住宅者以外）

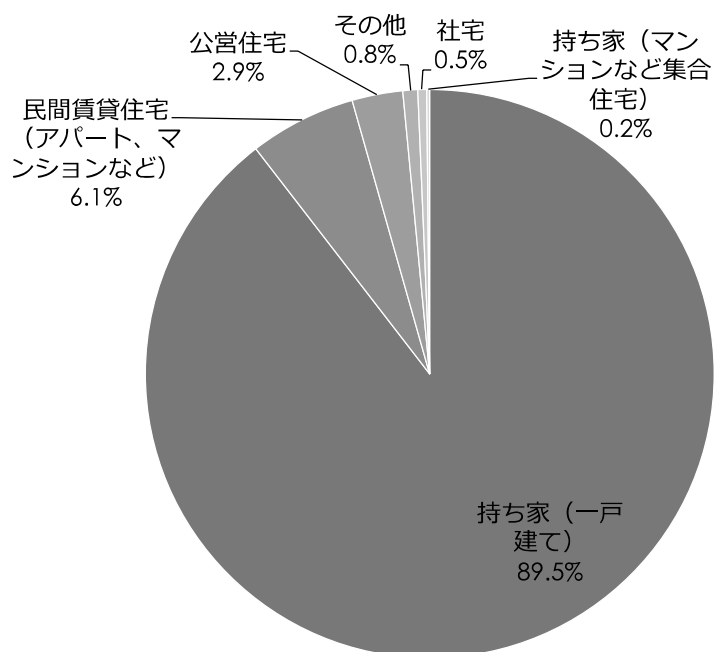
また、福島県外への移動もみられた（3.5%）（問 1_(1)）。

2）震災発生前の状況

2-1）震災発生前の居住地域と居住形態

避難する前の居住地域は、権現堂地区（15.9%）、川添地区（13.3%）、請戸地区（7.7%）が多かった（問 2_(1)_①）。住居形態は、持ち家（一戸建て）が 530 名（89.5%）と最も多かった（問 2_(1)_②）。

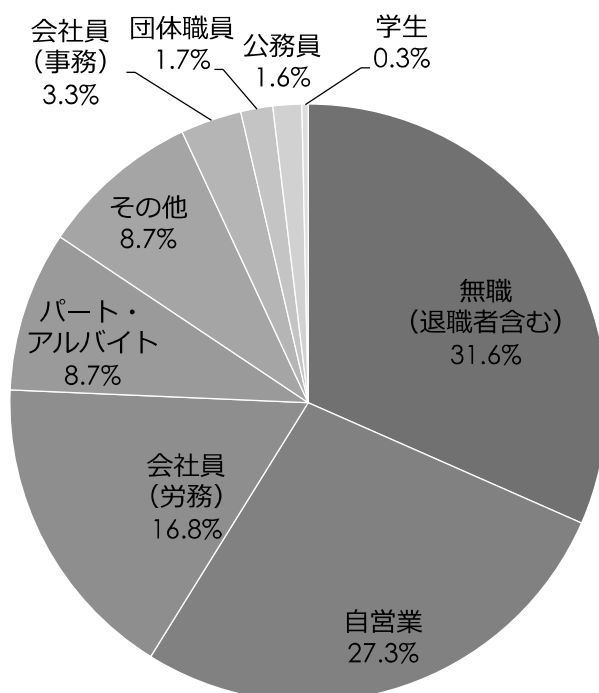




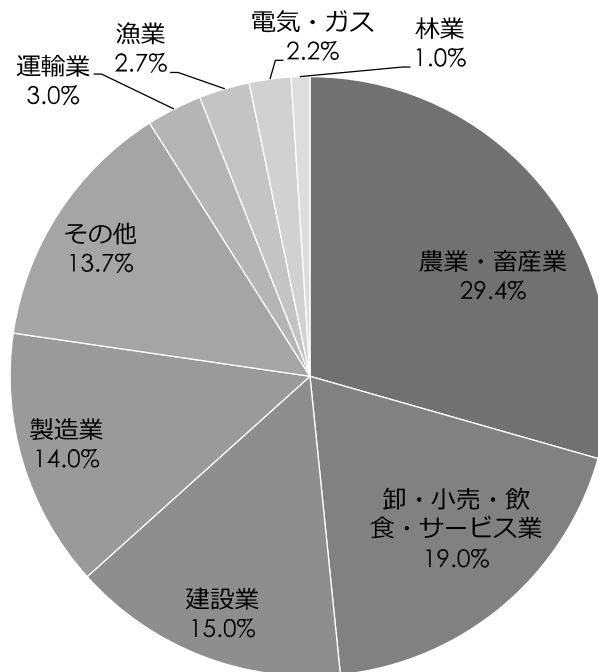
問2_(1)_② 震災前の居住形態

2-2) 震災当時の職業

震災当時の職業は、無職（退職者含む）が 182 名（31.6%）であり最も多かった。今回おこなった調査が高齢者を中心とした調査であったためと考えられる。また、職業としては、自営業（157 名・27.3%）であった方が多く、次いで会社員（労務）が 97 名（16.8%）、パート・アルバイトが 50 名（8.7%）であった（問 2_(2)_①）。公務員以外の仕事についていた方の業種は、農業・畜産業（118 名・29.4%）が最も多く、次いで、卸・小売・飲食・サービス業（76 名・19.0%）が多かった（問 2_(2)_②）。



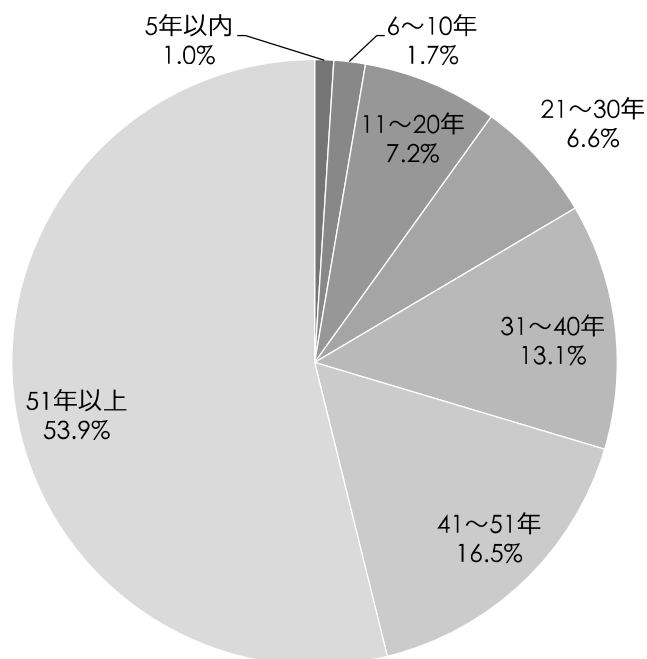
問2_(2)_① 震災当時の職業（就業形態）



問2_(2)_② 震災当時の仕事の業種（公務員以外）

2-3) 浪江町の住居年数

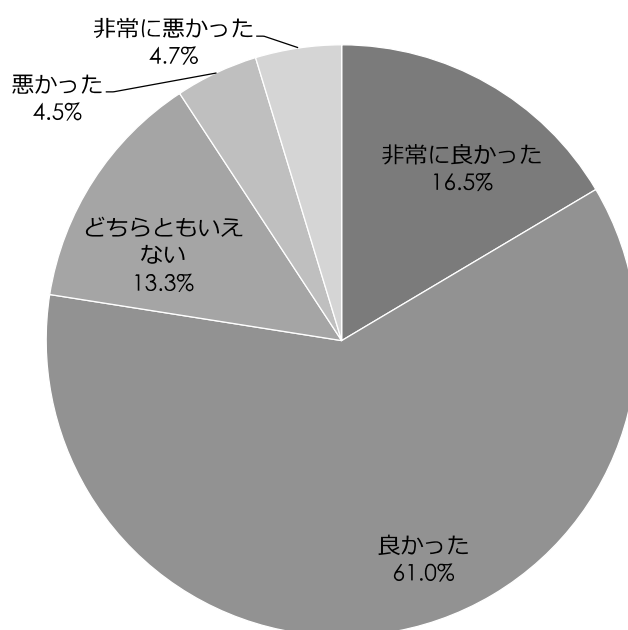
震災発生前に浪江町に居住していた年数は、51年以上が最も多く 320 名（53.9%）であった。次いで、41～50 年（16.5%）、31～40 年（13.1%）であった（問 2_(3)）。



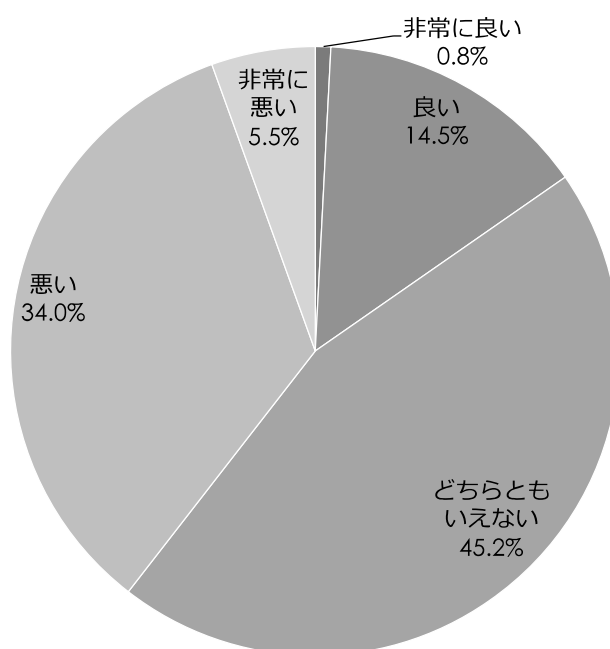
問2_(3) 震災発生前の浪江町居住年数

2-4) 震災発生前後の健康状態

震災発生前の健康状態については、震災発生前の健康状態を「非常に良かった」、「良かった」と回答した方が 461 名（77.5%）であり、「非常に悪かった」、「悪かった」と回答した方が 55 名（9.2%）であった（問 2_(4)）。一方で、現在（震災発生後）の健康状態を「非常に良かった」、「良かった」と回答した方が 92 名（15.3%）であり、「非常に悪かった」、「悪かった」と回答した方が 237 名（39.5%）であった（問 4_(4)）。震災前には比較的健康状態は良好であったが、現在では悪化している傾向がみられた。



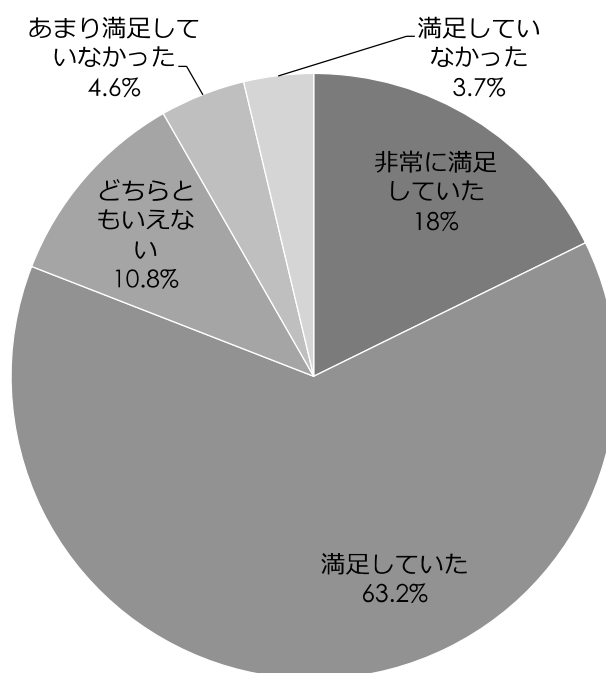
問2_(4) 震災発生前の健康状態



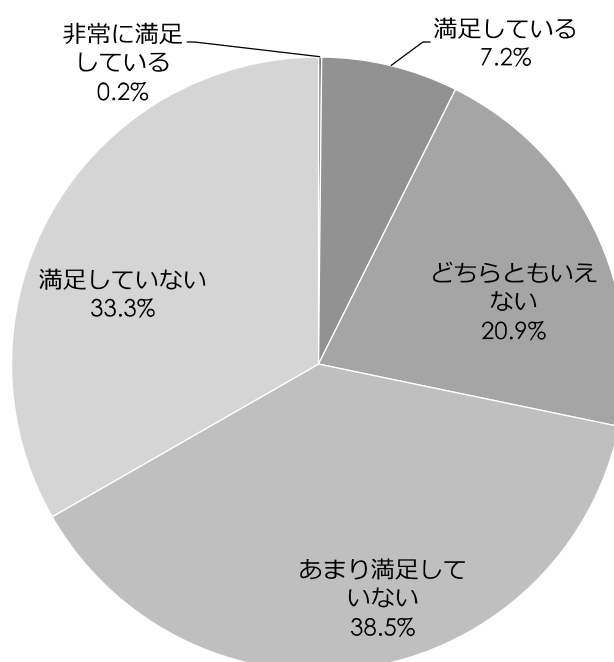
問4_(4) 現在の健康状態

2-5) 震災発生前後の生活満足感

生活満足度については、震災発生前の生活に対する満足感について「非常に満足していた」「満足していた」と回答した方が479名(80.9%)であり、「満足していなかった」「あまり満足していなかった」と回答した方が49名(8.3%)であった(問2_(5))。一方で、現在の生活に対する満足感について「非常に満足している」「満足している」と回答した方が44名(7.4%)であり、「満足していない」「あまり満足していない」と回答した方が429名(71.8%)であった(問4_(5))。こちらも、健康状態と同様に、震災前には生活に満足している傾向がみられたものの、現在はあまり満足していない傾向がみられた。



問2_(5) 震災発生前の生活満足感



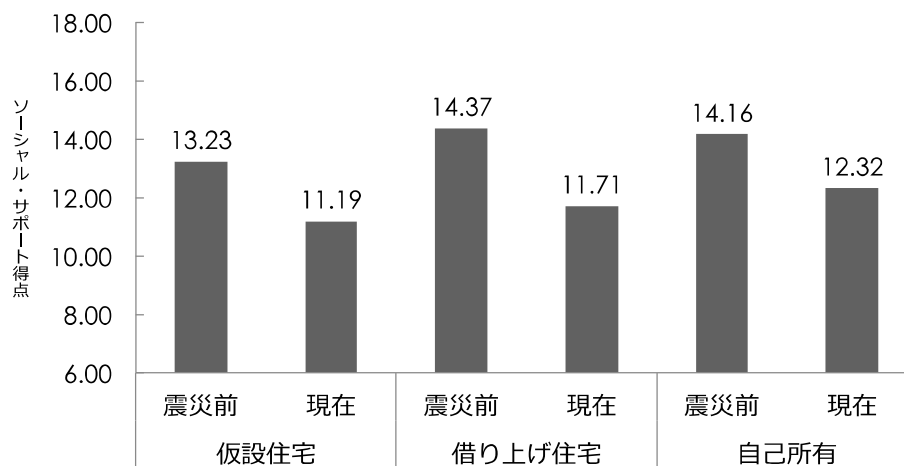
問4_(5) 現在の生活満足感

2-6) 震災発生前後のソーシャル・サポート

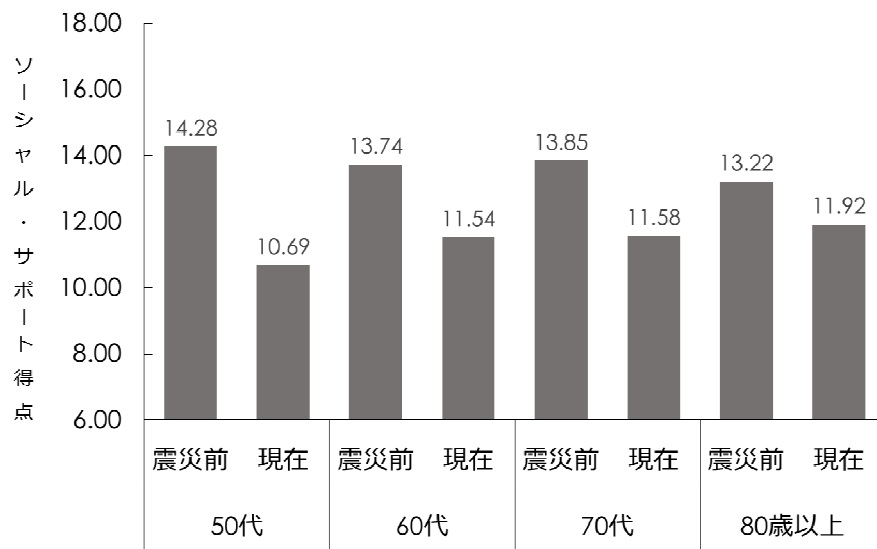
震災前、浪江町の自宅に住んでいた際に、どの程度支援をしてくれる人がいたかどうかと（問 2_(6)）、現在、どの程度支援してくれる人がいるか（問 4_(2)）について尋ねた。項目（6 項目）は「必要なとき、あなたに物質的・金銭的な支援をしてくれる人が…」や「困ったことやわからないことがあるとき、相談にのってくれる人が…」などであった。各項目について「いなかった（いない）」「一応いた（いる）」「確かにいた（いる）」の中から回答を求めた。これらの 6 項目を用いて、ソーシャル・サポート得点を算出した。なお、ソーシャル・サポートは、得点が高いほど支援してくれる人がいることを示している。

まず、居住形態別の震災発生前後のソーシャル・サポート得点について、居住形態別では、借り上げ住宅に住んでいる方が最も高く、次いで、自己所有、仮設住宅の順であった。また、震災前後では、居住形態にかかわらず、震災前よりも現在において得点が低かった。

次に年代別をみると、年代にかかわらず、震災前よりも現在においてソーシャル・サポート得点が低かった。また、震災前後のソーシャル・サポート得点の変化について年代別にみると、50 代の震災前と現在についての得点差が 60 代以降よりも大きく、震災前に比べて、現在のほうが周りに支援してくれる人がいないと感じていることが示された。



問2_(6), 問4_(2) 居住形態別の震災前後のソーシャル・サポート尺度得点

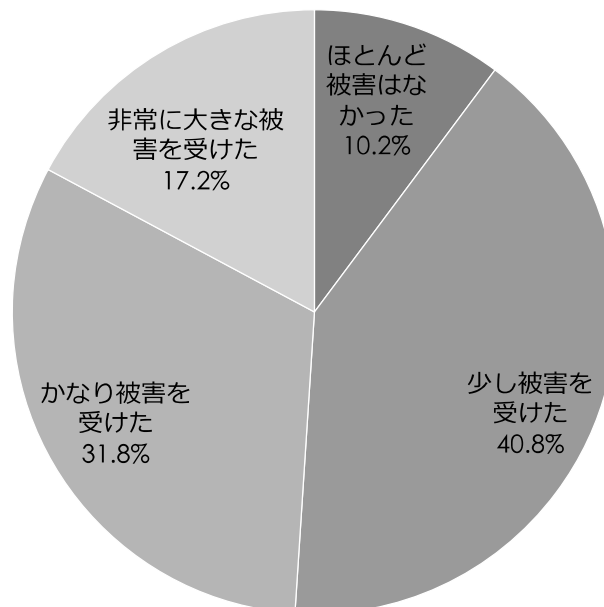


問2_(6), 問4_(2) 年代別の震災前後のソーシャル・サポート尺度得点

3) 被害状況

3-1) 被害状況

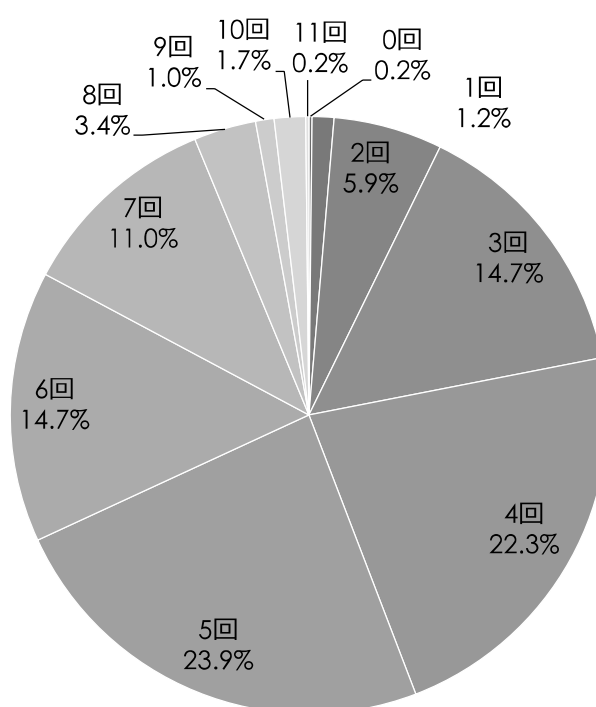
地震や津波で自宅がどの程度被害を受けたかについては、「少し被害を受けた」が最も多く 240 名 (40.8%) であった。「ほとんど被害はなかった」と回答した方は 60 名 (10.2%) であった。(問 3_(1))



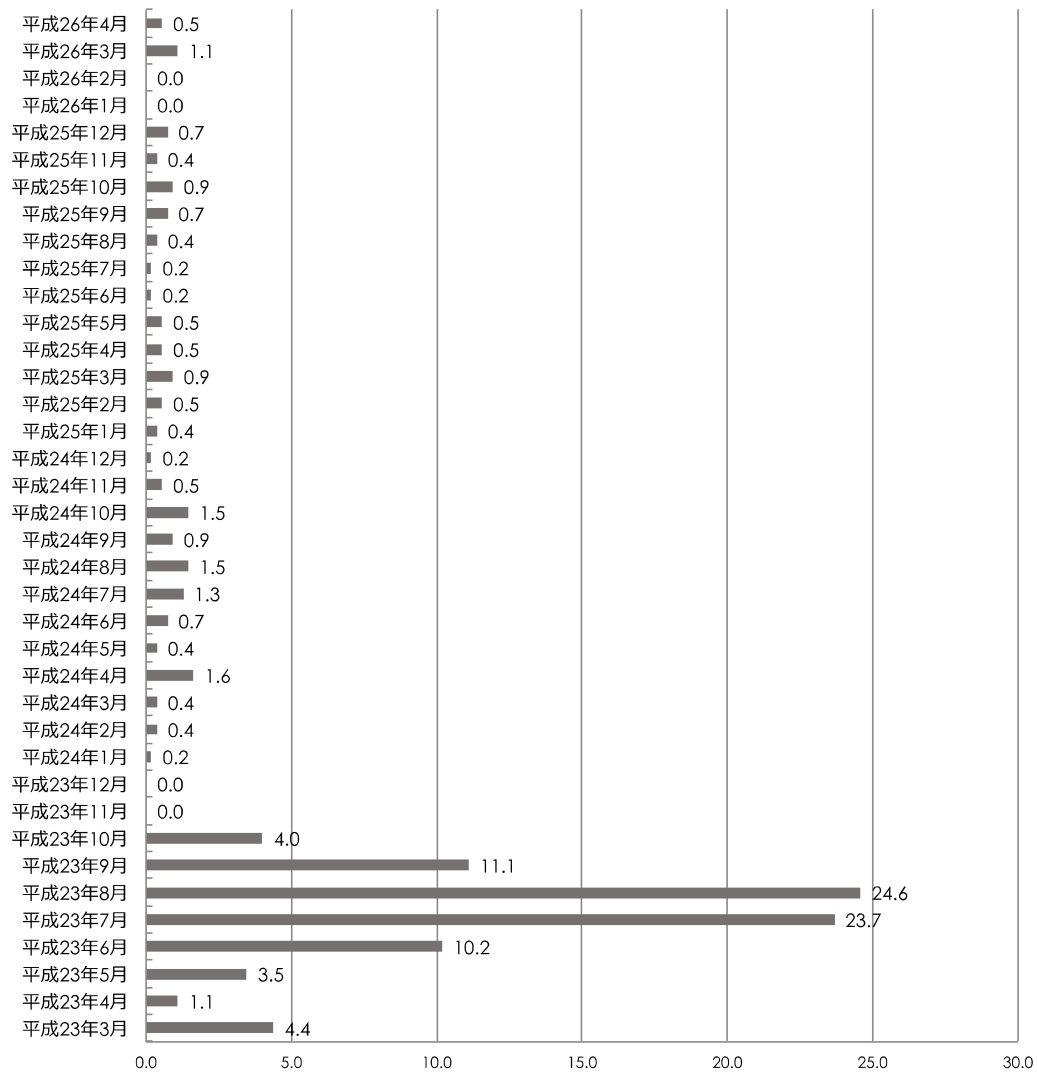
問3_(1) 地震や津波で自宅が被害を受けた程度

3-2) 転居回数と現在の住居に移った時期

現在の住居に移るまでの転居回数は、全体で 4.85 回 ($SD=1.76$, $n=593$) であった。一番多かったのは 11 回であった (問 3_(4))。現在の住居ごとにみても、仮設住宅住民は平均 4.72 回 ($SD=1.62$, $n=363$)、借り上げ住宅住民は平均 5.21 回 ($SD=1.92$, $n=132$)、自己所有者は平均 4.73 回 ($SD=1.73$, $n=44$) であった。また、現在の住居に移った時期は、平成 23 年 8 月 (135 名, 24.6%) や平成 23 年 7 月 (130 名, 23.7%) という方が多かった。全体的に見ると、現在の住居への移動は平成 23 年 5 月～10 月に集中していた。



問3_(4) 現在の場所に移るまでの転居回数



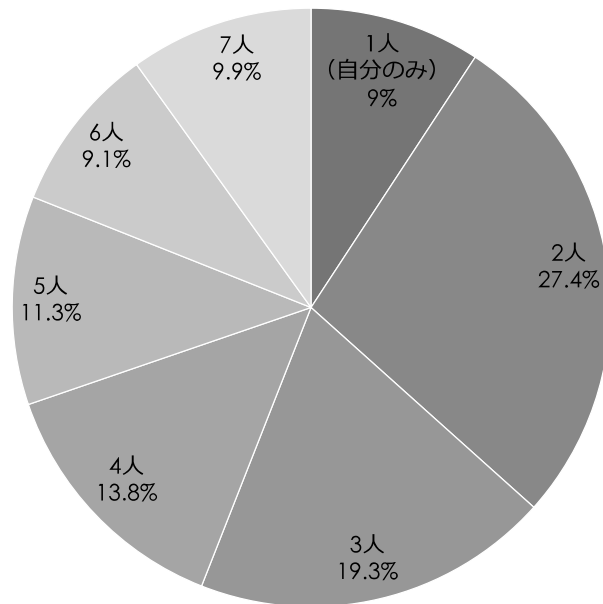
問3_(3) 大震災で浪江町から避難後、現在の住居に移った時期

%

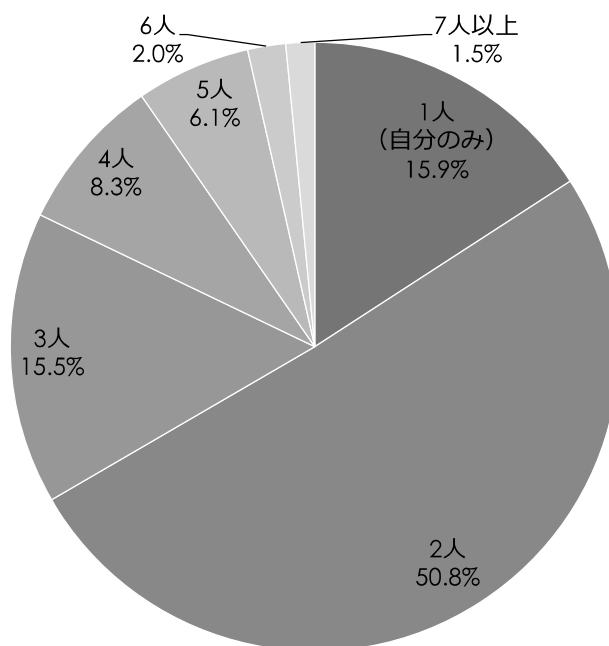
4) 震災発生前と現在の状況

4-1) 震災発生前後の居住人数

震災発生前の居住人数は、2人という方が最も多く（163名、27.4%）、次いで、3人（115名、19.3%）、4人（82名、13.8%）の順であった（問2_(1)_③）。現在の居住人数は、震災発生前と同様に2人という方が最も多かった（301名、50.8%）。次いで、1人（94名、15.9%）、3人（92名、15.5%）、4人（49名、8.3%）であった（問4_(1)）。現在では、震災発生前に比べると3人・7人以上で暮らしていた方が減少し、1人または2人暮らしの方が大幅に増加していた。



問2_(1)_③ 震災前の居住人数



問4_(1) 現在の住まいの同居人数（自分を含む）

4-2) 現在の精神的健康状態

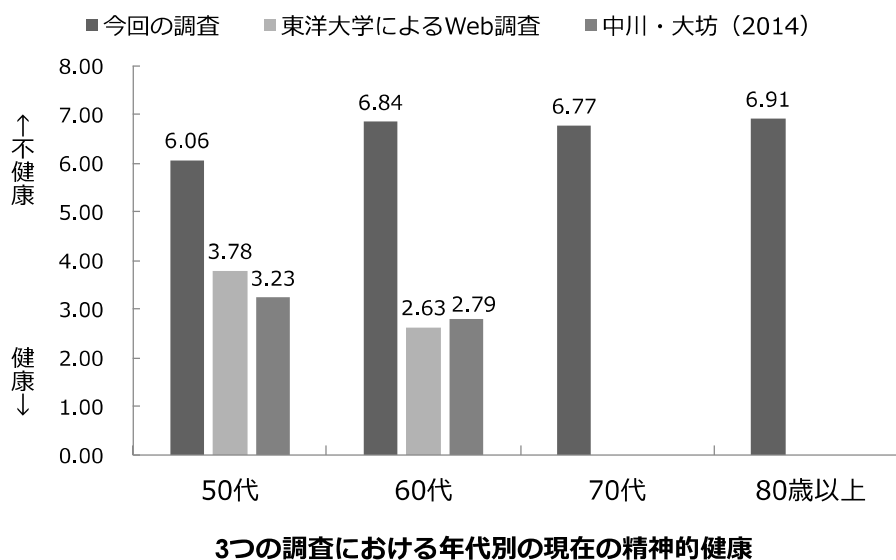
現在の精神的健康状態について、①精神健康調査票（General Health Questionnaire: GHQ12）と②心理的ウェルビーイング尺度によって健康状態を測定した。

4-2-1) 精神健康調査票 (GHQ)

GHQ では、この 2～3 週間を振り返って、健康状態について回答するものであり、12 項目設定されている（例えば、「心配事があって、よく眠れないようなことは…」や「いつもより容易に物事を決めることが…」など）。その 12 項目を用いて得点を算出した ($M=6.63$, $SD=4.01$)。GHQ では、得点が高いほど不健康状態を示している。

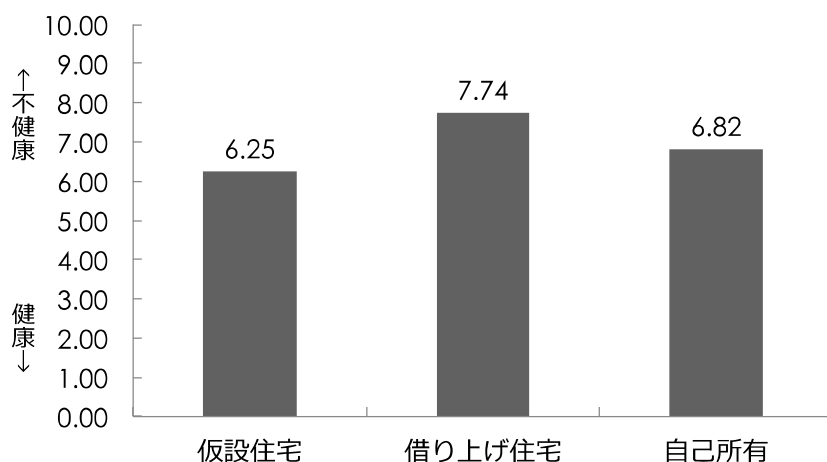
年代別にみると、50 代 ($M=6.04$, $SD=3.97$, $n=82$)、60 代 ($M=6.67$, $SD=4.03$, $n=185$)、70 代 ($M=6.70$, $SD=3.84$, $n=166$)、80 歳以上 ($M=6.75$, $SD=4.04$, $n=66$) と、年代が高いほど不健康状態にあることがわかった。GHQ12 のカットオフポイントは 3/4 であるので、いずれの年代においてもかなり高い数値であることが理解できる。

比較のために、①東洋大学 HIRC21 による「逆境経験調査」のデータ、および ②日本版を作成した中川・大坊 (2014) のデータを図に一緒に示した。なお、①は、20 代～60 代の男女 (各年代 2472 名) を対象とした WEB 調査、②は、年齢について 5 年刻みの結果が示されているが、ここでは平均値をもって 10 年刻みの結果として示した。全体に、①②のデータと比べて得点が高く、震災から 3 年以上を経過しているにもかかわらず、不健康な状態が持続していることがわかる。



GHQ 得点を居住形態別にみると、借り上げ住宅 ($M=7.74$, $SD=3.84$, $n=132$) が最も GHQ 得点が低く、次いで、自己所有 ($M=6.82$, $SD=4.60$, $n=44$)、仮設住宅 ($M=6.25$, $SD=3.90$, $n=364$) の順で得点が低かった (問 4_(3))。

GHQ 得点を居住形態別にみると、借り上げ住宅 ($M=7.74$, $SD=3.84$, $n=132$) が最も GHQ 得点が低く、次いで、自己所有 ($M=6.82$, $SD=4.60$, $n=44$)、仮設住宅 ($M=6.25$, $SD=3.90$, $n=364$) の順で得点が低かった (問 4_(3))。



問4(3) 居住形態別の現在の精神的健康

4-2-2) 心理的ウェルビーイング尺度

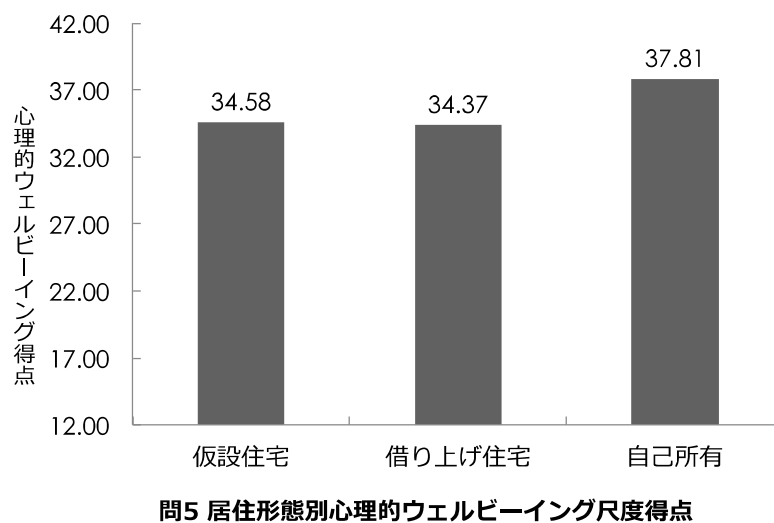
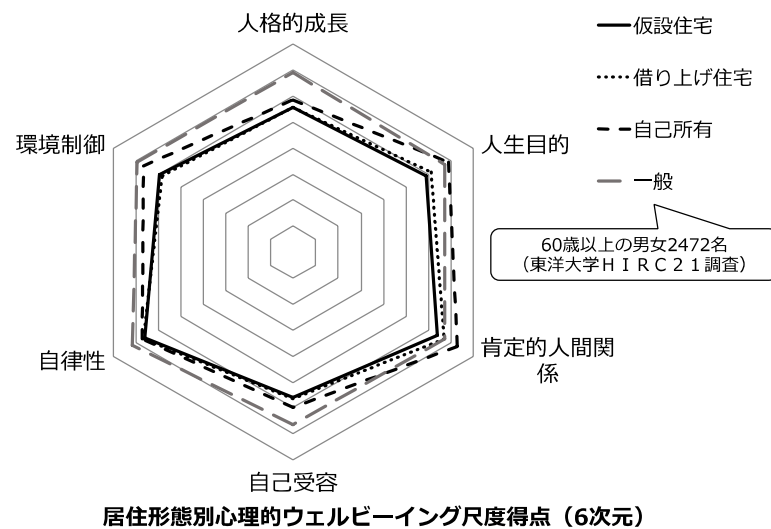
心理的ウェルビーイング尺度は、「自己受容」「肯定的人間関係」「自律」「環境制御」「人生目的」「人格的成長」の 6 つの次元から、良好な状態 (ウェルビーイング) を定義したものである。「自己受容」とは、現在の自分とこれまでの人生を、肯定的に捉えていることを示す。「肯定的人間関係」とは、温かく信頼できる人間関係を築いていることであり、「自律」とは、自ら決定し、自分で考えて行動することができる程度である。「環境制御」とは環境をコントロールしているという感覚をもち、機会を有効に利用できるかどうかである。また、「人生目的」とは、明確な目的のもとに、意味ある人生を送っていると考えられる程度であり、「人格的成長」とは、新しい経験を受け入れ、自分が継続的に成長しているという感覚を持っていることである。これら 6 つの次元の各項目の得点が高いほど状態が良いことを示している。

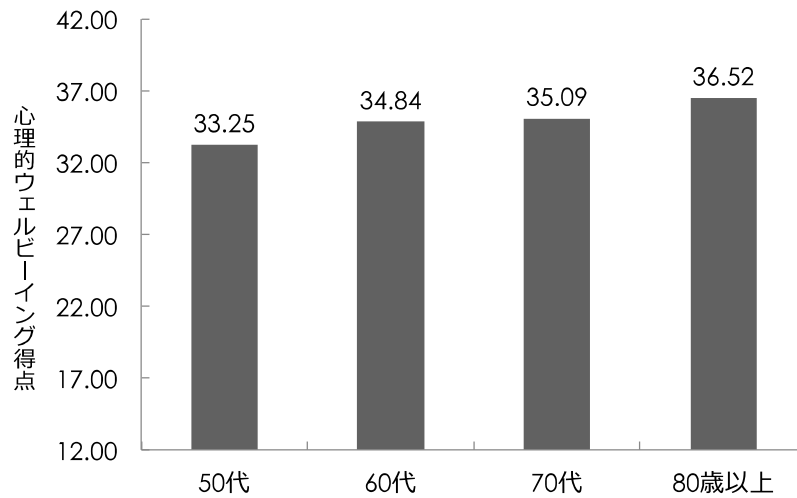
居住形態別に心理的ウェルビーイング尺度を 6 つの次元に分類すると、自己受容 (自己所有: $M=6.09$, $SD=1.63$, 仮設住宅: $M=5.51$, $SD=1.53$, 借り上げ住宅: $M=5.52$, $SD=1.60$)、肯定的人間関係 (自己所有: $M=7.21$, $SD=1.71$, 仮設住宅: $M=6.32$, $SD=1.72$, 借り上げ住宅: $M=6.53$, $SD=1.64$)、環境制御 (自己所有: $M=6.42$, $SD=1.59$, 仮設住宅: $M=5.91$, $SD=1.65$, 借り上げ住宅: $M=5.73$, $SD=1.64$)、人生目的 (自己所有: $M=6.91$, $SD=1.78$, 仮設住宅: $M=5.83$, $SD=1.83$, 借り上げ住宅: $M=5.98$, $SD=1.66$) の 4 次元で、自己所有は仮設住宅や借り上げ住宅よりも得点が高かった (問 5)。前述の渡洋大学 HIRC21 による「逆境経験調査」(対象者は 60 歳以上の男女 2472 名) に対しておこなった調査結果と比較してみると、一般の 60 歳以上の男女の方が居住形態にかかわらず、人格的成長、自己受容、自律性、環

境制御において得点が高かった。

次に、居住形態別では、自己所有 ($M=37.81$, $SD=7.28$, $n=43$) で最も心理的ウェルビーイング得点が高く、次いで、仮設住宅 ($M=34.58$, $SD=7.28$, $n=366$), 借り上げ住宅 ($M=34.37$, $SD=6.68$, $n=132$) の順であった (問 5)。

また、年代別では、50 歳代から 80 歳以上にかけて、年齢が上がるにつれて心理的ウェルビーイング得点も高くなる傾向がみられた (50 代: $M=33.25$, $SD=7.11$, $n=83$, 60 代: $M=34.84$, $SD=6.68$, $n=186$, 70 代: $M=35.09$, $SD=7.01$, $n=166$, 80 歳以上: $M=36.52$, $SD=7.12$, $n=64$)。



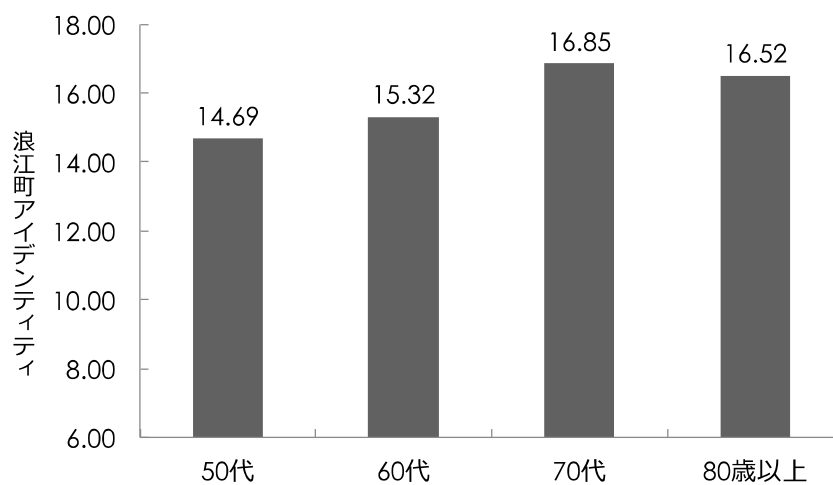


問5 年代別心理的ウェルビーイング尺度得点

4-5) 浪江町アイデンティティ

浪江町に対する想いについて、6項目（例：「浪江町に愛着を感じる」や「『自分は浪江町民なんだ』と実感する」など）を用いて尋ねた。その合計得点（範囲 6～24 点）を算出した（ $M=15.77$, $SD=4.08$ ）。

年代別で比較すると、50代（ $M=14.69$, $SD=4.05$, $n=83$ ）、60代（ $M=15.32$, $SD=3.79$, $n=184$ ）、70代（ $M=16.85$, $SD=4.10$, $n=168$ ）、80歳以上（ $M=16.52$, $SD=4.56$, $n=66$ ）であり、特に70代、80歳以上で得点が高い傾向があった（問4_(7)）。



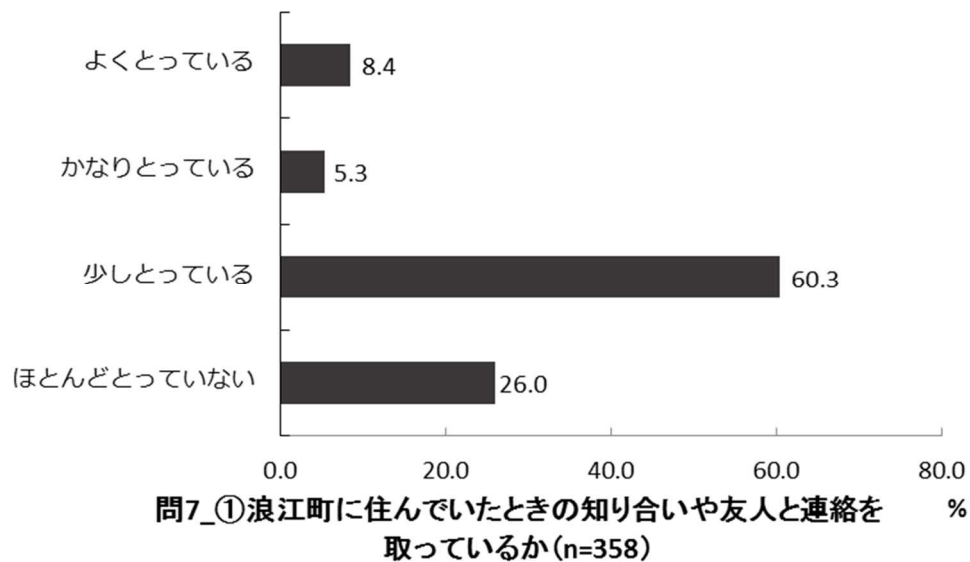
年代別浪江町アイデンティティ

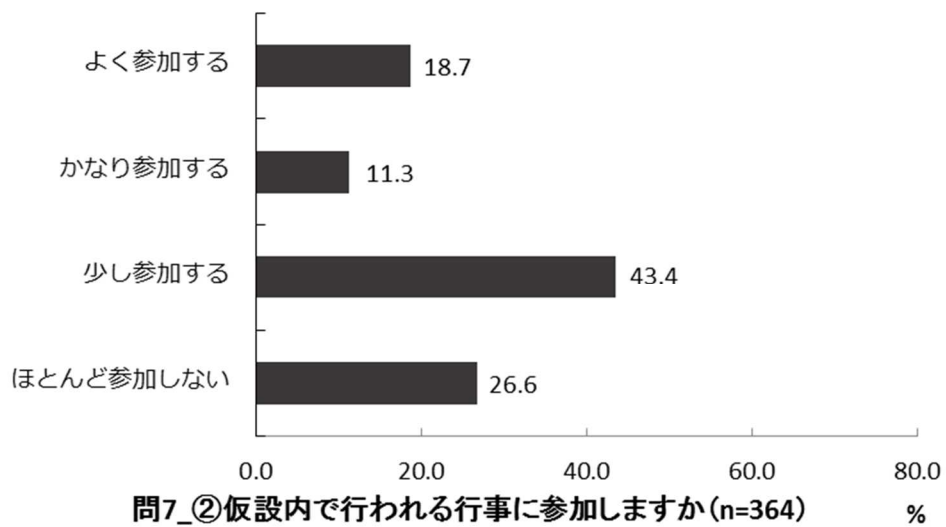
5) 仮設住宅者のコミュニケーションの様子

仮設住宅住居者のみを対象に、日ごろのコミュニケーション活動について尋ねた。

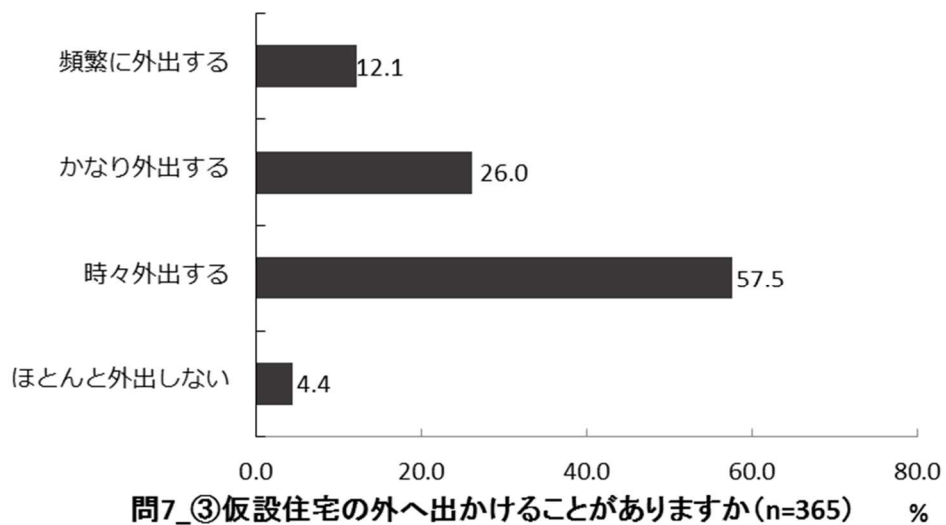
「浪江町に住んでいたとき（震災前）の知り合いや友人と連絡をとっているか」（問 7_①）については、「少しとっている」方が最も多かった（216 名, 60.3%）。「ほとんどとっていない」という方が 93 名（26.0%）であった。

次に「仮設内で行われる行事に参加するか」（問 7_②）については、「少し参加する」方が 158 名（43.4%）と最も多かった。「よく参加する」「かなり参加する」方は、109 名（29.9%）であった。仮設内では様々な行事が企画されているが、その内容によって参加有無が大きく変わる可能性が考えられる。

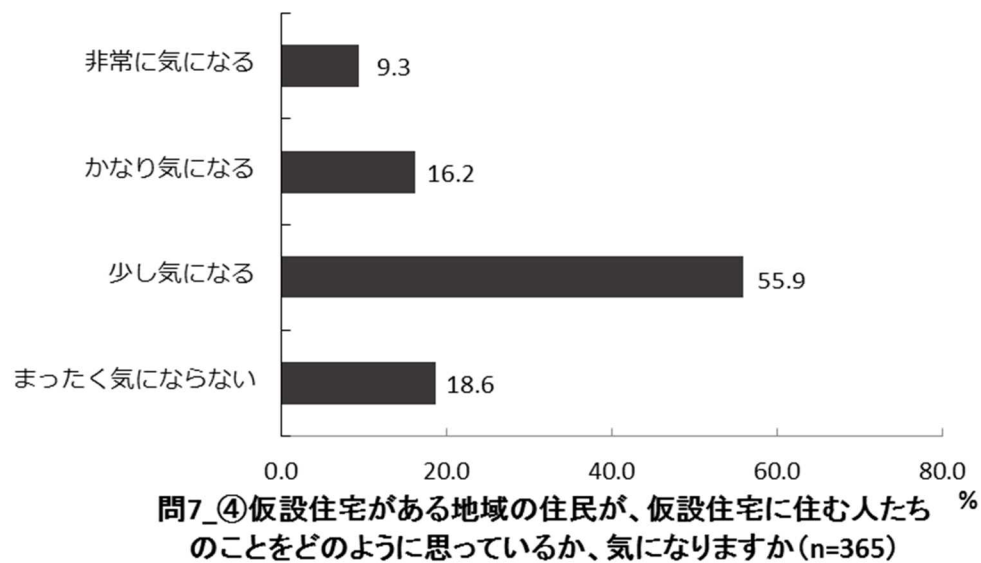




また、「仮設住宅の外へ出かけることがあるか」(問 7_③)については、「時々外出する」方が最も多かった(210名, 57.5%)。次いで、「かなり外出する」が95名(26.0%),「頻繁に外出する」が44名(12.1%)であった。



「仮設住宅がある地域の住民が、仮設住宅に住む人たちのことをどのように思っているか、気になるか」については、「少し気になる」方が最も多かった(204名, 55.9%)。また、「非常に気になる」方も34名(9.3%)いた。



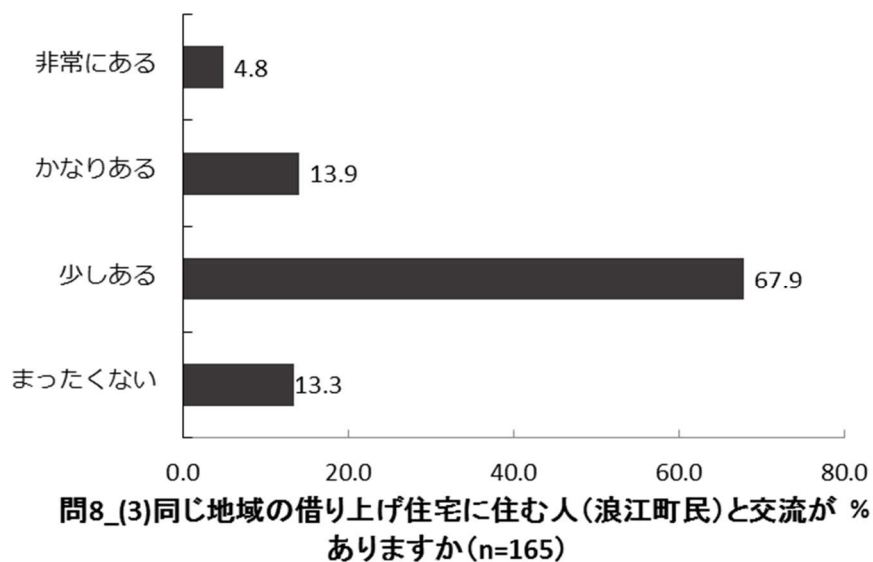
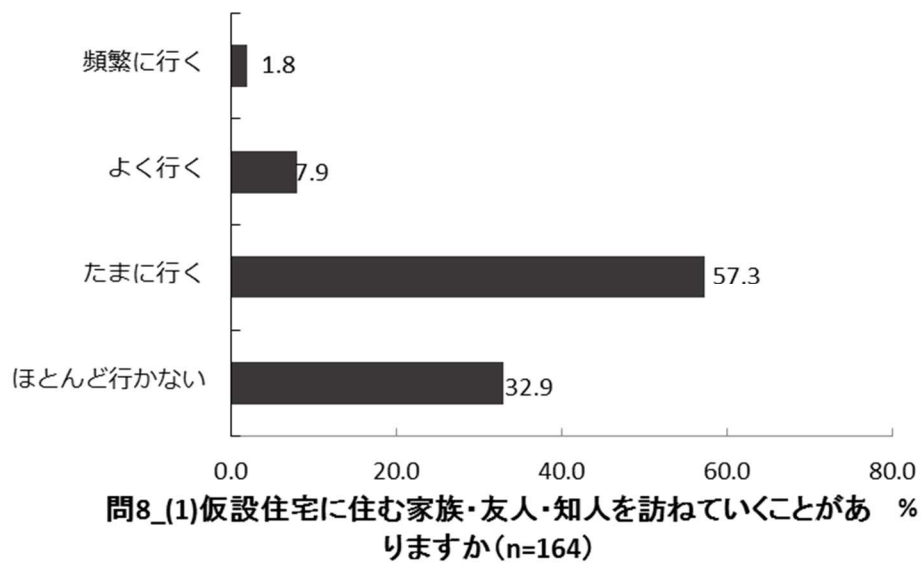
6) 仮設住宅者以外の方のコミュニケーションの様子

仮設住宅以外に居住している方を対象に、日ごろのコミュニケーションの様子や、情報の受取方について尋ねた。

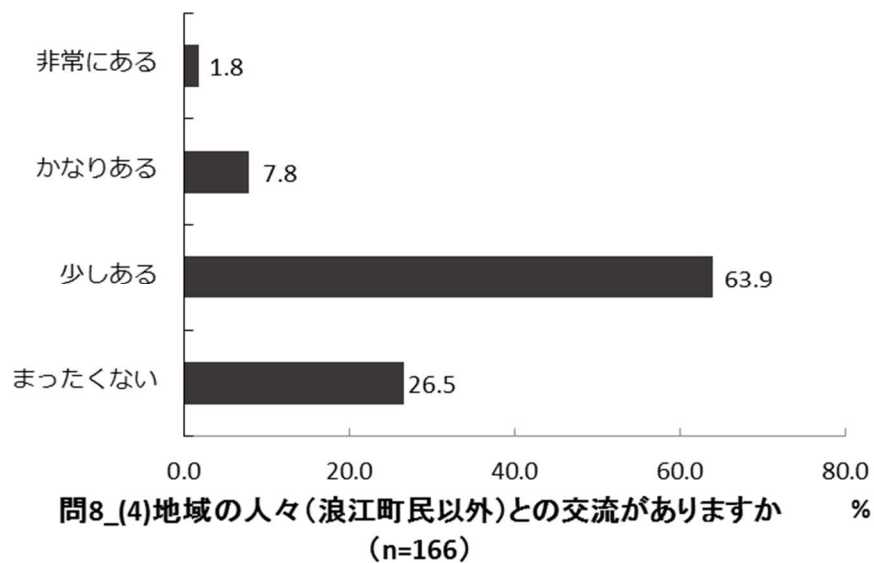
6-1) コミュニケーション

「仮設住宅に住む家族・友人・知人を尋ねていくことがあるか」(問 8_(1)) については、「たまに行く」方が 94 名 (57.3%) で最も多かった。一方、「ほとんど行かない」という方が 54 名 (32.9%) であった。

また、「同じ地域の借り上げ住宅に住む人 (浪江町民) と交流があるか」(問 8_(3)) については、「少しある」方が最も多かった (112 名, 67.9%)。浪江町民との交流が続いている傾向が示された。

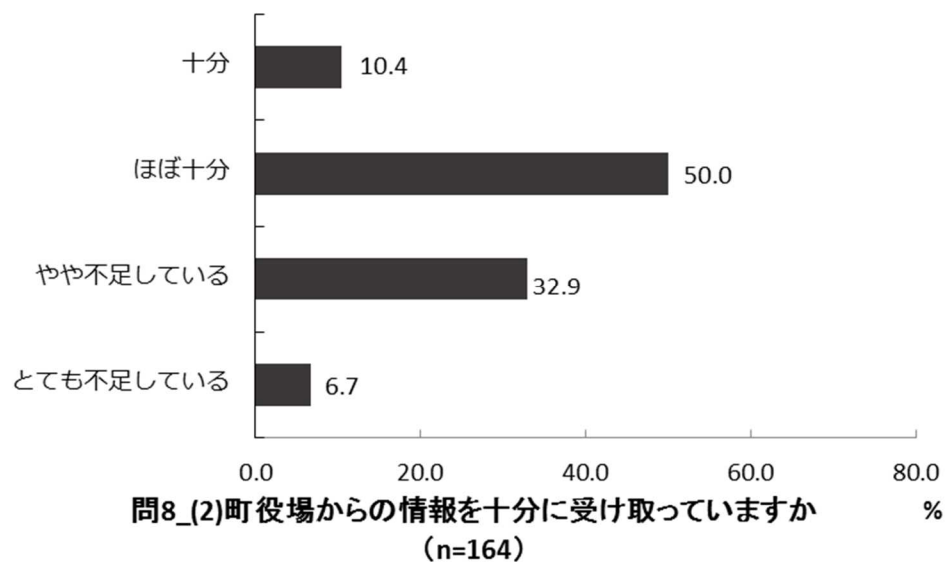


「地域の人々（浪江町民以外の人）との交流があるか」（問 8_(4)）については、「少しある」方が 106 名（63.9%）と最も多かった。一方で、「まったくない」という方が 44 名（26.5%）であった。浪江町民以外の人との交流は、浪江町民と比べると少ない傾向にあった。



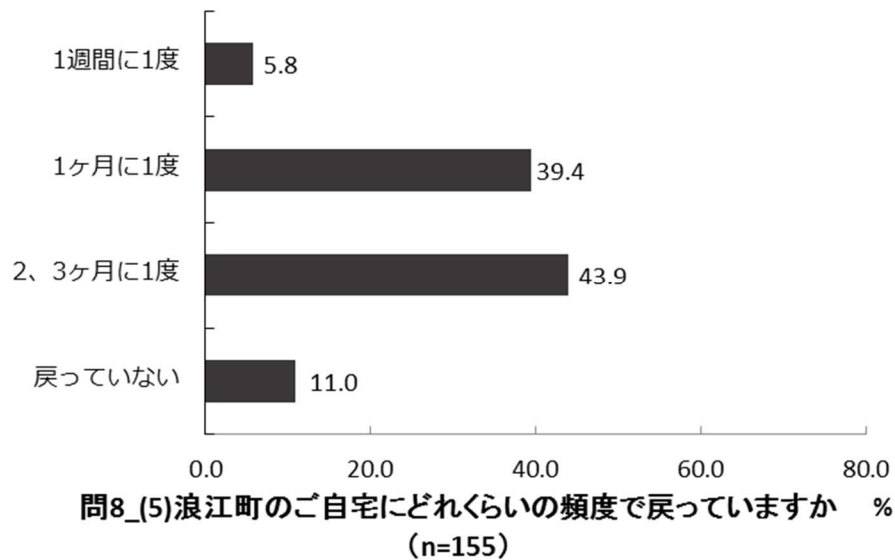
6-2) 情報の受け取り

「町役場からの情報を十分に受け取っているか」(問 8_(2))については、「やや不足している」「とても不足している」方が 65 名 (39.6%) であった。借り上げ住宅等は、自分から情報を積極的に受け取りにいかなくては情報が入ってこないという状況も考えられる。



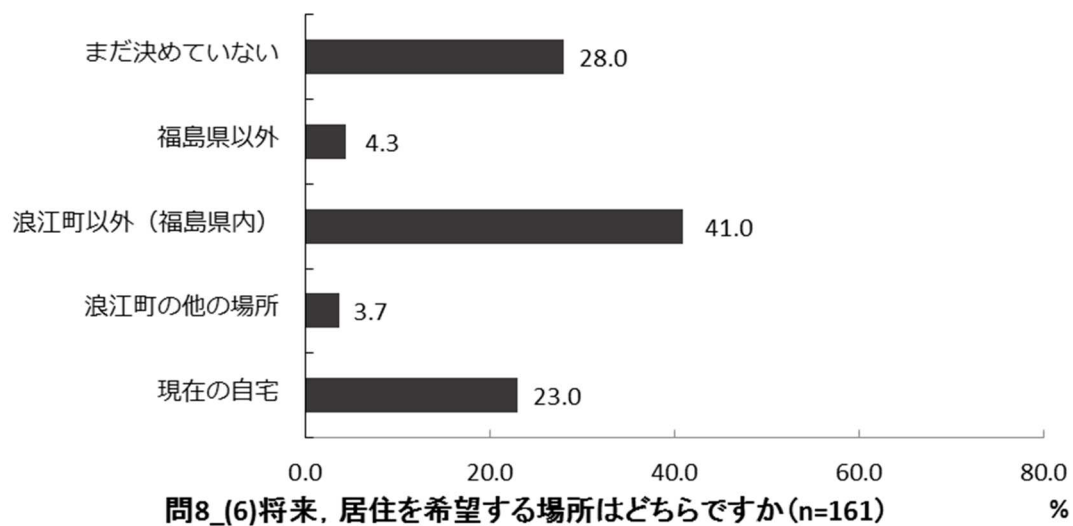
6-3) 浪江町に帰宅する頻度

「浪江町のご自宅に、どれくらいの頻度で戻っているか」(問 8_(5))について尋ねたところ、「2, 3 ヶ月に 1 度」という方が最も多かった (68 名, 43.9%)。「1 ヶ月に 1 度」という方も 61 名 (39.4%) であり、定期的に帰宅している方が多いようであった。しかし、「戻っていない」方も 17 名 (11.0%) いた。



6-4) 将来の居住する居住場所

現在のところ、「将来、居住を希望する場所はどちらか」については、「浪江町以外（福島県内）」という方が最も多かった（66名、41.0%）。また、「まだ決めていない」という方も45名（28.0%）であった。



7) 自由記述欄への回答

自由記述欄として、「現在困っていることや不満に感じていること」（問9）と、「避難生活をされている中で、とくに「楽しみにしていること」「生きがいを感じることに」について、ご自身の趣味やその他の活動、身の回りの出来事など」（問10）を用意した。

問 9 については、263 件（43.4%）の記述があった。

問 10 については、195 件（32.2%）の記述があり、そのうち「楽しみにしていること」や「生きがいを感じることに」についての内容は 161 件（82.6%）であった。その他の記述（34 件、17.4%）は、「生きがいや楽しみはない」という内容や現状についての不満等についてであった。

7-1) 記述内容の分類

自由記述欄への回答は、記述量やテーマの多様性に関して個人差が大きかった。そこで、以下の手続きによって、内容の分類をおこなった。

- ・各回答者の記述をパソコン上でテーマごとに分解する（それぞれを「1 件」とする）。
- ・各件の内容の類似性に基づいて、それぞれをより大きなカテゴリーにまとめる。
- ・カテゴリーにまとめる作業の過程で、適宜、カテゴリーの統合や各件の再分解をおこなった。実際には、複数のカテゴリーにまたがると思われるものや、特殊な内容でカテゴリーを構成することが不可能なものなどがあり、これらは以下の分析からは除外してある。したがって、以下にまとめられた内容は、回答者全体の記述内容を広く概観するためのものである。

【“困っていること、悩んでいること”に対する回答】

(1) 心身の状態に関する訴え

1)精神的苦痛(13 件)

「くやしきばかりです。この生活を味わった人達だけのつらさです。」

「心の中はいつもからっぽ！そんな感じです。」など。

2)心身の悪化への懸念(16 件)

「体の不調を感じ限界をかんじている。少しでも希望のもてる日々を送りたい。」

「夜中に目がさめると、その後なかなか寝付かれず日中ボーッとしている。」など。

3)寂しさ(23 件)

「近くに知っている人が少なく、皆離ればなれでなかなか会う事ができずとても淋しい」「3 年の仮設生活で交流あった人達との別れが辛い。」など。

4)怒り(6 件)

「原発再稼働や輸出等の話を聞くたび身体が震える程怒りを感じる。」「過去には原発と共に生き、最後に全てを失った。原発にとられた。」など。

(2) 避難生活と震災前の生活との解離

1)震災前の生活への思慕(14 件)

「浪江に住んでいた時は野菜や花を作って楽しんでいたが、それが出来ないのが淋しい。」「仲間と旅行したり湯入りしたり、ささやかな喜びがあった。今は、普通

の生活が出来ない。」など。

2) 帰還への想い(15 件)

「帰りたいです。一日も早く帰りたいです。」「せめて生きているうちに古里浪江に帰りたいものだと思います。浪江を思い出しては涙が出ます。」など。

3) 自宅（浪江）の状態に関する心配(18 件)

「1 年半後くらいからネズミの被害が出始めた。このままでは住めなくなるだろう。」

「雨漏れしカビが生え、多いネズミ柱かじられいたる所に糞がいっぱい。」など。

4) 諦め(5 件)

「現在は、浪江に帰る事等が、夢になりました。」「生まれてから 70 年以上住んでいるので外の土地には住みたくない。そう思ってみても現実にはだめだろうとあきらめている。」など。

5) 将来への不安／不確定な状況(37 件)

「帰還困難区域、帰ることが出来ないなら出来ないとはっきりしてほしい。」

「気持ちが落ち着かず、浮き草状態です。」など。

(3) 避難生活に伴う諸問題

1) 対人関係の困難(10 件)

「移住して間がないので仲々隣近所になじめず何からしたら良いのかわからない。」
今までは夫婦で話もよくしたが、現在ではお互いのストレスや不満も出て来て話し合う時間も少なくなった。」など。

2) 介護／看護(3 件)

「浪江にいるときと違ってどこに行くにも○を連れて歩かなくてはならない。」

「介護のため、落ち込んだり部屋から出なくなった暮らしです。」など。

3) 住環境への不満（仮設 59 件、借上げ 14 件）

「仮設はせまくストレスがたまり限界。」

「仮設住宅で死にたくありません。仮設住宅の生活は苦しいです。」など。

4) 自治会活動の困難・不満(6 件)

「仮設の自治活動がわずらわしい」「自治活動・ふれあい活動に資金が足りない。」など。

5) 除染の効果に関する疑問／放射線・原発への不安(16 件)

「現在も原発より放射性物質が出来ていると思うと不安。」「放射能への不安、除染の効果や同じ地域でもホットスポットがあること。」など。

6) 東京電力・行政への不満・不信・怒り(26 件)

「町の情報が入ってこない。文書などが送付されて来るが、あまりにもぶ厚い物で読む気にもならない。」

「政府，その他機関は机上の空論でなく，被災地に出向いて避難者と同じ生活をしてから物事を決定すべき。」 など。

(4) 賠償金に関する不満と周囲の無理解

1)賠償格差への不満(18 件)

「区域再編の賠償の格差は問題が生じるので，ある程度一律にしてほしい。」

「仮設住宅には家賃がかからないのに，住宅を購入して自分の責任で前向きに生きようとしている人には何の援助も無い。」 など。

2)賠償額への不満(19 件)

「賠償金が少ない為，多くの人達が毎日不安な生活をしている。あと 5 万でも増やして欲しい。」 「金がない。なにもない。ふさげるな。」 など。

3)周囲の無理解・誤解／風化(13 件)

「東電の事故の為，このような生活をしているのに賠償をしているからと思われているのが残念。」

「仮設から一歩でると必ずだれかに会い，常に人の目が気になります。」 など。

【“楽しみや生きがい”に対する回答】

(1) 趣味

1)活動（運動，音楽，レジャー）(86 件)

「浪江の時代からの合唱活動していて楽しい。」 「週 1 回の体操に行ってしり合いの顔を見て体操して来るのが楽しみです。」 など。

2)草花・野菜の栽培(15 件)

「毎日どこで花をさかせて仮設の皆さんと育て方など話をするのが楽しみです。」 「仮設内に 1 坪ぐらいの畑を作り楽しみです。」 など。

(2) 人々との交流

1)浪江町民との交流(29 件)

「浪江の人達と会っておしゃべりをする。」

「浪江町民の来る場所には絶対的に参加し，懐かしさと嬉しさで元気頂いて帰宅出来る」 など。

2)友人との交流 (9 件)

「仲のよい友達と会ったりすること。」

「何ヶ月に一度友人と連絡取り話出来るのが楽しみ。」 など。

3)地元との交流(6 件)

「地元の人達に元気づけられ励まされて，とてもありがたいです。」

「地区の人達の親切さに感謝しております。」 など。

(3) イベント参加

1) 仮設内のイベント(29 件)

「仮設の月間行事をいつも楽しみにしています。」

「仮設内で季節行事に参加し入居されてる方々と楽しむことが出来る。」など。

(4) 家族の絆

1) 孫や子どもと会う機会(24 件)

「時々孫のところへ行って会ってくる。孫の成長が楽しみです。」

「私には子供がいてその子たちに元気をもらいました。子供たちの力が出せる世の中にいなければいけません。子供たちの成長が私の楽しみです。」など。

(5) 社会的活動

1) 自治会活動／世話役(11 件)

「ボランティアでなみえの方々を訪問していること」

「自治会役員をしているので、多忙ではありますが、皆の世話を出来ることに生きがいを感じる。」など。

(6) 古里の確認

1) 自宅（浪江）に帰ること(6 件)

「一時帰宅して浪江の我が家の空気にふれた時が一番和みます。」

「月に一度自宅を見にいくのがたのしみです！」など。

今回の調査対象者の多くは仮設住宅で生活をしているが、仮設住宅そのものも地域や規模、住宅の構造が異なるほか、個々の回答者の喪失の種類と規模、家族状況の変化の様相など、避難生活の条件は多様である。したがって、記述されたマイナスの側面およびプラスの側面もきわめて多様なものとなっている。

一部の住民からは、心身の状態の悪化が持続しているという強い訴えがある。そうした心理状態に陥る背景には、帰還の時期、仮設住宅後の生活、放射線の影響などあらゆる面での不確実性がある。そうした状況を引き起こした東京電力、適切な対応をとれない行政に対する怒りや不満も根強い。また、不安定かつ不慣れな住環境において、家族関係や地域住民との心理的葛藤が二次的なストレス源になっていることもうかがえる。また、賠償金の額そのものが低いこと、金額を決定する条件の根拠が避難住民の多様性に対応しきれていないことが強い不公平感を生み出している。

以上のような苦しい生活状況の中で、さまざまな活動の中に楽しみを見いだす人たちも少なくない。とくに、仮設住宅で開催されるさまざまなイベントや自分たちが構成する会

に参加すること、また、個人個人の趣味に時間を割くことが多くの人々の楽しみとなっている。活動そのものに加えて、これらが町民同士でコミュニケーションを活発に行い、浪江町民の一人であることを確認する場となっている。

一方で、避難生活の場に以前の趣味を生かす環境がなかったり、新しい趣味や活動を始めようとする気力が乏しい場合には、震災前に楽しんでいた趣味を剥奪されていることに注目してしまう人もいる。また、「強いて言えば」という表現の中に、本気でこうした活動にのめり込めない姿もうかがえる。子や孫と離れて仮設住宅や借上げ住宅で生活している人たちは、子や孫と会って成長を確認する機会を楽しみ・生きがいと感じている。また、数は多くないが、自治会活動やボランティア活動を通じて避難者をさまざまな形でケアすることに生きがいを感じている人もいた。

さまざまな喪失と生活環境の変化が大きなストレス源となることは質問紙調査からも明らかであるが、そうした状況の下でも希望をもち新しい可能性を開こうとする人々は、コミュニティの中でも重要な存在である。それぞれの町民の喪失の大きさや種類が異なる中で、生活再建や心理的な「回復」のスピードもさまざまである。その中で、「前向き」な人々の活動は、他の人々にとっての役割モデルとなったり、新しい可能性に気づかせてくれるのである。ネットワーク・コミュニティの構築は、こうしたプロセスを促進させることに貢献することが期待される。

7-2) 記述内容のネットワーク分析

ここでは、現在の生活の様子について尋ねた問4の(5)「全体的にみて、あなたは現在の生活にどれくらい満足していますか」の問いに対して、「満足していない」「あまり満足していない」と回答した224名を、現状に不満を感じている「現状生活不満足群」と捉え、「生活不満足」の要因としてどのようなことがあるのかについて、分析をおこなった。

7-2-1) 現在困っていることや不満に感じる記述に対する分析

問9の記述について対応分析をおこなった結果、3つのまとまりがみられた(図A)。また、記述について共変ネットワーク分析もおこなった結果(図B)、「現状生活不満足群」の現在困っていることや不満に感じる内容として、大きく3つの内容が示された。ひとつは、仮設住宅や復興住宅に対するストレスであった。特に仮設住宅における住環境の問題は、心身へのストレスとなっていることがあきらかである。また、仮設住宅生活がいつまで続くのかという不安や復興住宅への懸念なども大きなストレスになっていることが考えられる。2つめは、東京電力の対応に対する内容であった。賠償については、区域による賠償格差や賠償額への不満だけでなく、賠償金による生活をしているという周囲の目など様々な内容の不満があげられた。3つめは、現在住んでいる場所や浪江町に帰れるかどうかという不安、家族のことについて考えるという内容であった。特に「浪江」という言葉は、「帰る」という言葉と強い関連があり、「浪江に帰る」ことについての不安が示されたと考えられる。

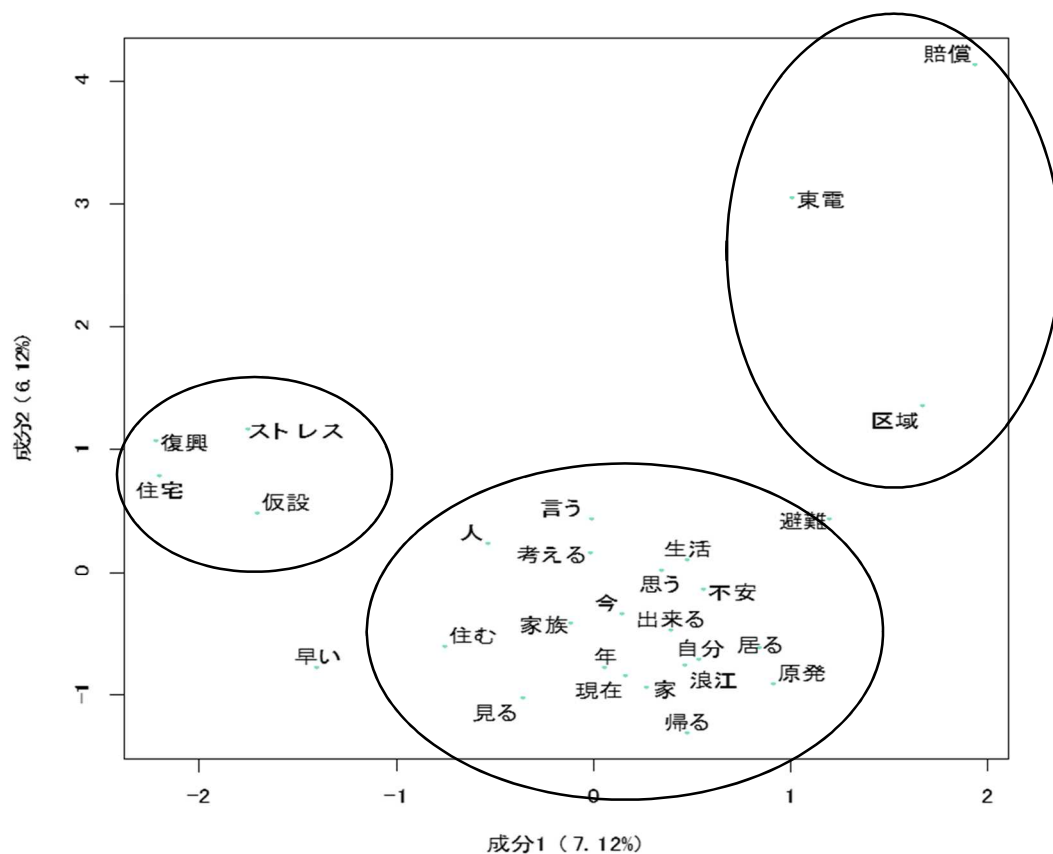


図 A 現在困っていることや不満に感じる記述に対する対応分析

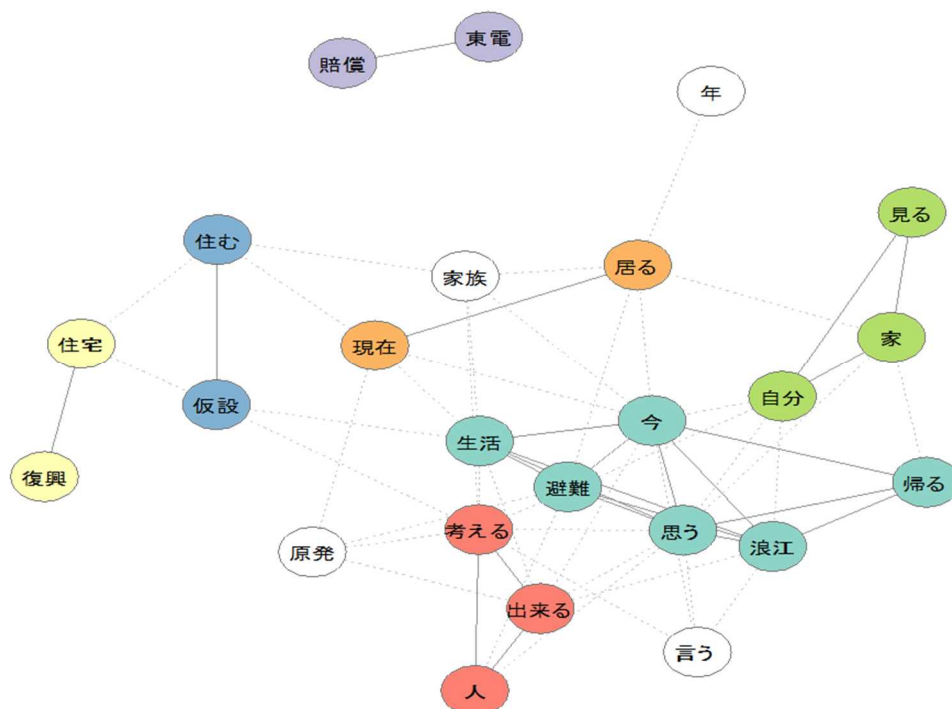


図 B 現在困っていることや不満に感じる記述に対する共変ネットワーク分析

7-2-2) 避難生活の中で「楽しみにしていること」「生きがいを感じること」の記述に対する分析

次に、問 10 の内容（避難生活の中で、とくに「楽しみにしていること」「生きがいを感じること」）について、対応分析（図 C）、共変ネットワーク分析（図 D）をおこなった。その結果、大きく 3 つのまとまりが示された。ひとつは、浪江の人たちが集まる機会への参加であった。浪江町の方との懐かしい話は、故郷を思いだす楽しい時間のようなのである。同じ境遇であることも、お互いの励みになるようであった。2 つめは、仮設住宅の生活を楽しもうとする内容であった。仮設住宅では、様々なイベントが用意されている。それらのイベントに参加し交流を深めることを楽しみにしているという声が多かった。イベントでは、浪江町を思い出し、郷土料理をみんなで作って食べたり、お茶会、カラオケ、卓球など様々なものが企画されているようである。イベントを通して、様々な方とコミュニケーションをおこなうことは、気分転換にもなると考えられる。記述には、このようなイベントをしてほしいという希望や提案もみられた。3 つめは、辛い中にも楽しみを見いだそうとするポジティブな姿勢や気持ちであった。散歩や体を動かすといった毎日の生活で出来ることから、定期的に家族や友だちに会いに行くことを楽しみに生活する様子など、内容は様々であった。

現状の生活には不満足であるが、それぞれ楽しみや生きがいとなる活動も見つけながら、生活している様子がうかがえた。家族や浪江町民同士のコミュニケーションや、居住地区の方との新しい交流など、1 人での活動よりも人との交流や活動を挙げている内容が多くみられた。

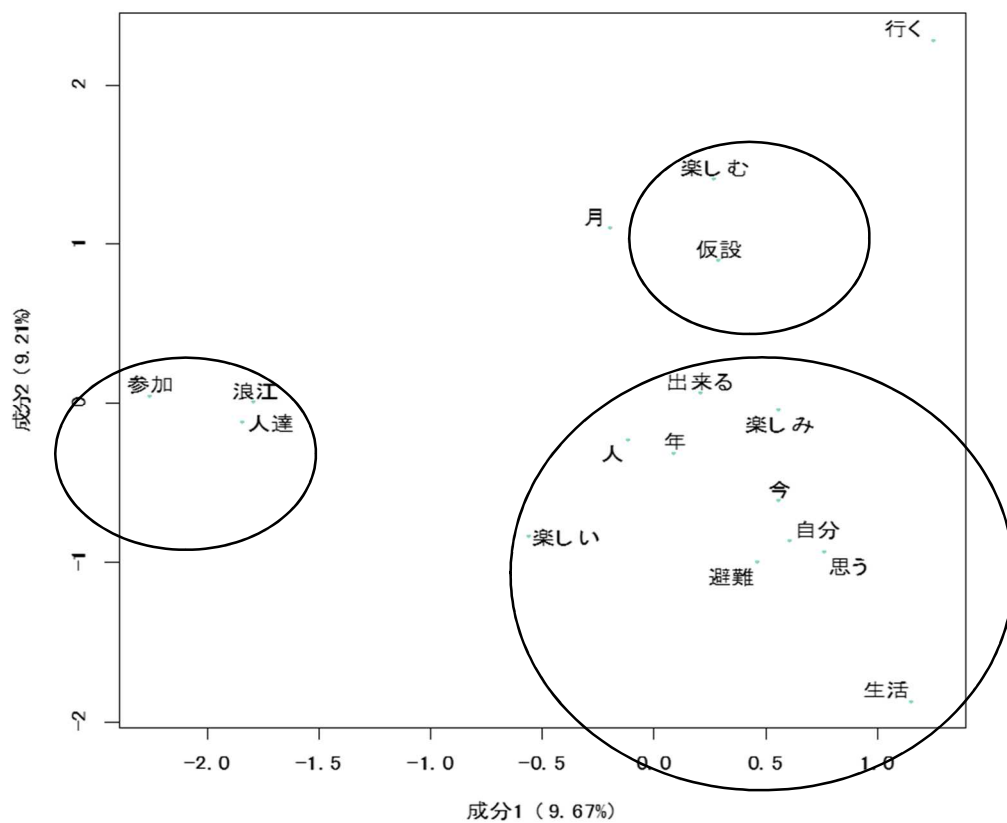


図 C 楽しみや生きがいを感じていることに関する対応分析

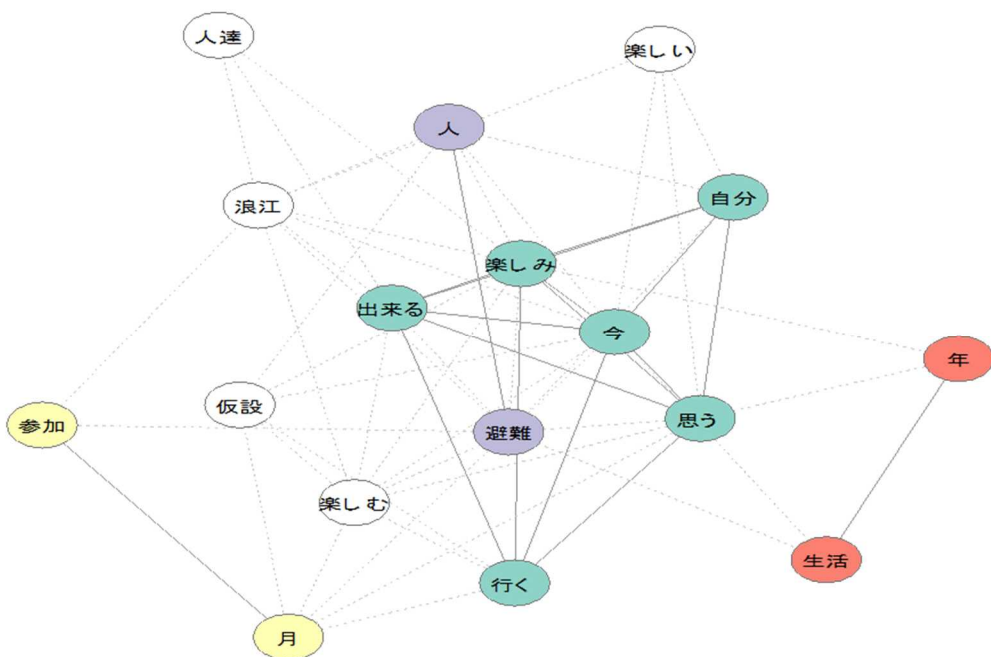


図 D 楽しみや生きがいを感じていることに対する共変ネットワーク分析

まとめ

今回の質問紙調査では、全体的に調査対象者の精神的健康度は、被災を経験していない「一般対象者」と比較して明らかに低い傾向が見られた。自由記述欄の内容を分析した結果からは、家屋やコミュニティなど重大な喪失を多重かつ「曖昧な」形で経験していることや、家族やコミュニティ内部の分断が生じていることがこうした傾向に影響を及ぼしていることが示唆された。とくに借上げ住宅居住者は仮設住宅居住者より健康度が低い傾向があり、さまざまな介入の必要性が認められた。

本資料には記されていないが、統計的分析の結果、仮設住宅内でのさまざまな活動への参加や外出頻度など「社会参加」の程度と精神的健康の間に相関関係が認められた。このことは、町づくりワークショップへの参加や「えんじょい号」の運行・利用など「社会参加」を促す仕組み作りが、住民の精神的健康を高める可能性があることを改めて示している。一方で、こうした活動にほとんど参加しない人も少なくないことが調査結果からも示されており、こうした層の人々を参加の方向に導く方策を考える必要がある。

問1 現在お住まいになっている住宅の所有形態

	n	%
仮設住宅	370	66.0
借り上げ住宅、公営住宅、公務員宿舎	135	24.1
民間賃貸、公営住宅	10	1.8
実家、親戚、知人宅	1	0.2
自己所有	44	7.8
その他	1	0.2
合計	561	100.0

問1_(1)現在お住まいになっている住宅がある市町村

	n	%
二本松市	55	19.3
福島市	109	38.2
いわき市	16	5.6
南相馬市	20	7.0
相馬市	3	1.1
郡山市	11	3.9
本宮市	19	6.7
桑折市	10	3.5
福島県内その他	32	11.2
福島県外	10	3.5
合計	285	100.0

問1_(2)お住まいの仮設住宅の番号

	n	%
桑折駅前	38	9.5
杉内多目的運動広場	37	9.3
郭内公園	22	5.5
塩沢農村広場	19	4.8
岳下住民センター	1	0.3
旧平石小学校	54	13.6
安達運動場	28	7.0
建設技術学院跡	22	5.5
杉田農村広場	1	0.3
石神第一	18	4.5
栗木平	8	2.0
小田部	24	6.0
和田石上	8	2.0
恵向	22	5.5
大野台第8	8	2.0
笹谷東部	33	8.3
南矢野目	37	9.3
北幹線第一	5	1.3
宮代第一	3	0.8
宮代第二	2	0.5
旧佐原小学校	8	2.0
合計	398	100.0

問2_(1)_① お住まいだった地区(大字)

	n	%
権現堂	95	15.9
高瀬	12	2.0
幾世橋	12	2.0
北幾世橋	30	5.0
棚塩	5	0.8
請戸	46	7.7
中浜	3	0.5
両竹	4	0.7
西台	10	1.7
藤橋	7	1.2
川添	79	13.3
牛渡	6	1.0
樋渡	16	2.7
谷津田	14	2.3
田尻	25	4.2
小野田	10	1.7
加倉	22	3.7
刈宿	10	1.7
酒田	16	2.7
立野	34	5.7
井出	24	4.0
小丸	11	1.8
大堀	13	2.2
酒井	4	0.7
末森	1	0.2
室原	21	3.5
津島	21	3.5
南津島	19	3.2
川房	1	0.2
下津島	5	0.8
赤宇木	13	2.2
羽附	6	1.0
その他	1	0.2
合計	596	100.0

問2_(1)_② お住まいの所有形態

	n	%
持ち家(一戸建て)	530	89.5
持ち家(マンションなど集合住宅)	1	0.2
民間賃貸住宅(アパート、マンションなど)	36	6.1
公営住宅	17	2.9
社宅	3	0.5
その他	5	0.8
合計	592	100.0

問2_(1)_③ 震災発生前、お住まいの住宅にはあなたを含めて何人がお住まいでしたか

	n	%
1人(自分のみ)	55	9.2
2人	163	27.4
3人	115	19.3
4人	82	13.8
5人	67	11.3
6人	54	9.1
7人	59	9.9
合計	595	100.0

問2_(2)_① 震災当事の職業(就業形態)

	n	%
自営業	157	27.3
会社員(事務)	19	3.3
会社員(労務)	97	16.8
団体職員	10	1.7
公務員	9	1.6
パート・アルバイト	50	8.7
学生	2	0.3
無職(退職者含む)	182	31.6
その他	50	8.7
合計	576	100.0

問2_(2)_② 震災当事公務員以外の仕事についていた方の業種

	n	%
農業・畜産業	118	29.4
林業	4	1.0
漁業	11	2.7
建設業	60	15.0
製造業	56	14.0
電気・ガス	9	2.2
運輸業	12	3.0
卸・小売・飲食・サービス業	76	19.0
その他	55	13.7
合計	401	100.0

問2_(3) 震災発生前、浪江町に何年間住んでいたか

	n	%
5年以内	6	1.0
6～10年	10	1.7
11～20年	43	7.2
21～30年	39	6.6
31～40年	78	13.1
41～51年	98	16.5
51年以上	320	53.9
合計	594	100.0

問2_(4) 震災発生前、あなたの健康状態はいかがでしたか

	n	%
非常に悪かった	28	4.7
悪かった	27	4.5
どちらともいえない	79	13.3
良かった	363	61.0
非常に良かった	98	16.5
合計	595	100.0

問2_(5) 全体的にみて、その当時、生活にどれくらい満足していましたか

	n	%
満足していなかった	22	3.7
あまり満足していなかった	27	4.6
どちらともいえない	64	10.8
満足していた	374	63.2
非常に満足していた	105	17.7
合計	592	100.0

問2_(6)_1)あなたの気分をなごませたり、くつろがせてくれる人が...

	n	%
いなかった	33	5.7
一応いた	265	45.9
確かにいた	279	48.4
合計	577	100.0

問2_(6)_2)あなたがふだんやらなくてはならない用事を手伝ってくれる人が...

	n	%
いなかった	55	9.6
一応いた	291	50.8
確かにいた	227	39.6
合計	573	100.0

問2_(6)_3)あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受けとめ、耳を傾けてくれる人が...

	n	%
いなかった	39	6.8
一応いた	292	51.2
確かにいた	239	41.9
合計	570	100.0

問2_(6)_4)身体の具合が思わしくないとき、面倒をみてくれる人が...

	n	%
いなかった	44	7.7
一応いた	276	48.2
確かにいた	253	44.2
合計	573	100.0

問2_(6)_5)困ったことやわからないことがあるとき、相談にのってくれる人が...

	n	%
いなかった	31	5.4
一応いた	284	49.3
確かにいた	261	45.3
合計	576	100.0

問2_(6)_6)必要なとき、あなたに物質的・金銭的な支援をしてくれる人が...

	n	%
いなかった	92	16.1
一応いた	303	53.0
確かにいた	177	30.9
合計	572	100.0

問3_(1) 地震や津波で、ご自宅はどれくらいの被害を受けたか

	n	%
ほとんど被害はなかった	60	10.2
少し被害を受けた	240	40.8
かなり被害を受けた	187	31.8
非常に大きな被害を受けた	101	17.2
合計	588	100.0

問3_(2) 家族や親戚の中に、亡くなった、または行方不明の方がいるか

	n	%
いる	213	36.3
いない	373	63.7
合計	586	100.0

問3_(3) 大震災(平成23年3月)で浪江町から避難後、現在の住居に移った時期

	n	%
平成23年3月	24	4.4
平成23年4月	6	1.1
平成23年5月	19	3.5
平成23年6月	56	10.2
平成23年7月	130	23.7
平成23年8月	135	24.6
平成23年9月	61	11.1
平成23年10月	22	4.0
平成23年11月	0	0.0
平成23年12月	0	0.0
平成24年1月	1	0.2
平成24年2月	2	0.4
平成24年3月	2	0.4
平成24年4月	9	1.6
平成24年5月	2	0.4
平成24年6月	4	0.7
平成24年7月	7	1.3
平成24年8月	8	1.5
平成24年9月	5	0.9
平成24年10月	8	1.5
平成24年11月	3	0.5
平成24年12月	1	0.2
平成25年1月	2	0.4
平成25年2月	3	0.5
平成25年3月	5	0.9
平成25年4月	3	0.5
平成25年5月	3	0.5
平成25年6月	1	0.2
平成25年7月	1	0.2
平成25年8月	2	0.4
平成25年9月	4	0.7
平成25年10月	5	0.9
平成25年11月	2	0.4
平成25年12月	4	0.7
平成26年1月	0	0.0
平成26年2月	0	0.0
平成26年3月	6	1.1
平成26年4月	3	0.5
合計	549	100.0

問3_(4)現在の場所に移るまで何回転居したか？(避難所やホテルなどを含む)

	n	%
0回	1	0.2
1回	7	1.2
2回	35	5.9
3回	87	14.7
4回	132	22.3
5回	142	23.9
6回	87	14.7
7回	65	11.0
8回	20	3.4
9回	6	1.0
10回	10	1.7
11回	1	0.2
合計	593	100.0

問4_ (1) 現在お住まいの住宅には、あなたを含めて何人がお住まいか

	n	%
1人(自分のみ)	94	15.9
2人	301	50.8
3人	92	15.5
4人	49	8.3
5人	36	6.1
6人	12	2.0
7人以上	9	1.5
合計	593	100.0

問4_ (2) 1)あなたの気分をなごませたり、くつろがせてくれる人が...

	n	%
いない	106	18.2
一応いる	367	63.2
確かにいる	108	18.6
合計	581	100.0

問4_ (2) 2)あなたがふだんやらなくてはならない用事を手伝ってくれる人が...

	n	%
いない	135	23.2
一応いる	351	60.2
確かにいる	97	16.6
合計	583	100.0

問4_ (2) 3)あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受けとめ、耳を傾けてくれる人が...

	n	%
いない	125	21.7
一応いる	351	60.8
確かにいる	101	17.5
合計	577	100.0

問4_ (2) 4)身体の具合が思わしくないとき、面倒をみってくれる人が...

	n	%
いない	119	20.5
一応いる	346	59.7
確かにいる	115	19.8
合計	580	100.0

問4_ (2) 5)困ったことやわからないことがあるとき、相談にのってくれる人が...

	n	%
いない	98	17.0
一応いる	370	64.0
確かにいる	110	19.0
合計	578	100.0

問4_ (2) 6)必要なとき、あなたに物質的・金銭的な支援をしてくれる人が...

	n	%
いない	210	36.6
一応いる	277	48.3
確かにいる	87	15.2
合計	574	100.0

問4_(3)_a 何かをする時にいつもより集中して...

	n	%
できた	30	5.1
いつもと変わらなかった	311	53.0
いつもよりできなかった	215	36.6
全くできなかった	31	5.3
合計	587	100.0

問4_(3)_b 心配事がある、よく眠れないようなことは...

	n	%
全くなかった	32	5.4
あまりなかった	138	23.4
あった	217	36.7
たびたびあった	204	34.5
合計	591	100.0

問4_(3)_c いつもより自分のしていることに生きがいを感じる事が...

	n	%
あった	39	6.6
いつもと変わらなかった	232	39.5
いつもよりなかった	195	33.2
全くなかった	121	20.6
合計	587	100.0

問4_(3)_d いつもより容易に物事を決めることが...

	n	%
できた	36	6.2
いつもと変わらなかった	284	48.7
できなかった	228	39.1
全くできなかった	35	6.0
合計	583	100.0

問4_(3)_e いつもストレスを感じたことが...

	n	%
全くなかった	12	2.0
あまりなかった	115	19.6
あった	259	44.0
たびたびあった	202	34.4
合計	588	100.0

問4_(3)_f 問題を解決できなくて困ったことが...

	n	%
全くなかった	43	7.4
あまりなかった	215	36.9
あった	207	35.6
たびたびあった	117	20.1
合計	582	100.0

問4_(3)_g 問題があったときに、いつもより積極的に解決しようとすることが...

	n	%
できた	36	6.2
いつもと変わらなかった	281	48.3
できなかった	228	39.2
全くできなかった	37	6.4
合計	582	100.0

問4_(3)_h いつもより気が重くて、憂鬱(ゆううつ)になることは...

	n	%
全くなかった	32	5.5
いつもと変わらなかった	150	25.6
あった	220	37.6
たびたびあった	183	31.3
合計	585	100.0

問4_(3)_i 自信を失ったことは...

	n	%
全くなかった	44	7.6
あまりなかった	185	31.8
あった	212	36.4
たびたびあった	141	24.2
合計	582	100.0

問4_(3)_j 自分は役に立たない人間だと考えたことは...

	n	%
全くなかった	81	13.8
あまりなかった	259	44.0
あった	162	27.6
たびたびあった	86	14.6
合計	588	100.0

問4_(3)_k 一般的にみて、しあわせといつもより感じることは...

	n	%
たびたびあった	49	8.4
あった	166	28.5
なかった	284	48.7
全くなかった	84	14.4
合計	583	100.0

問4_(3)_「いつもより日常生活を楽しく送ることが…」

	n	%
できた	34	5.8
いつもと変わらなかった	283	48.3
できなかった	215	36.7
全くできなかった	54	9.2
合計	586	100.0

問4_(4)_あなたの現在の健康状態はいかがですか

	n	%
非常に悪い	33	5.5
悪い	204	34.0
どちらともいえない	271	45.2
良い	87	14.5
非常に良い	5	0.8
合計	600	100.0

問4_(5)_全体的にみて、あなたは現在の生活にどれくらい満足しているか

	n	%
満足していない	199	33.3
あまり満足していない	230	38.5
どちらともいえない	125	20.9
満足している	43	7.2
非常に満足している	1	0.2
合計	598	100.0

問4_(6)_1)だいたいにおいて、私の人生は理想に近い。

	n	%
そう思わない	243	41.0
あまりそう思わない	180	30.4
どちらともいえない	147	24.8
わりとそう思う	16	2.7
とてもそう思う	6	1.0
合計	592	100.0

問4_(6)_2)私の人生は、すばらしい状態である。

	n	%
そう思わない	286	48.6
あまりそう思わない	149	25.3
どちらともいえない	132	22.4
わりとそう思う	17	2.9
とてもそう思う	5	0.8
合計	589	100.0

問4_(6)_3)私は、人生に満足している。

	n	%
そう思わない	268	45.4
あまりそう思わない	145	24.6
どちらともいえない	132	22.4
わりとそう思う	34	5.8
とてもそう思う	11	1.9
合計	590	100.0

問4_(7)_1) 浪江の子どもたちに、浪江の良さをもっと伝えたい。

	n	%
ない	58	9.9
少しある	262	44.8
かなりある	164	28.0
非常にある	101	17.3
合計	585	100.0

問4_(7)_2) 浪江町での生活を取り戻すように、自分でも努力したい。

	n	%
ない	147	25.1
少しある	243	41.5
かなりある	128	21.8
非常にある	68	11.6
合計	586	100.0

問4_(7)_3) 自分たちの経験を、後に続く世代の人たちに伝えたい。

	n	%
ない	60	10.2
少しある	229	39.0
かなりある	178	30.3
非常にある	120	20.4
合計	587	100.0

問4_(7)_4) 自分が経験した苦労は、浪江の子どもたちには味わわせたくない。

	n	%
ない	146	24.7
少しある	85	14.4
かなりある	161	27.3
非常にある	198	33.6
合計	590	100.0

問4_(7)_5) 「自分は浪江町民なんだ」と実感する。

	n	%
ない	28	4.7
少しある	176	29.6
かなりある	215	36.2
非常にある	175	29.5
合計	594	100.0

問4_(7)_6) 浪江町に愛着を感じる。

	n	%
ない	32	5.4
少しある	156	26.2
かなりある	194	32.6
非常にある	213	35.8
合計	595	100.0

問5_1)新しい経験を積み重ねるのが楽しみだ。

	n	%
全くあてはまらない	65	11.1
あまりあてはまらない	140	23.9
どちらともいえない	291	49.6
かなりあてはまる	71	12.1
よくあてはまる	20	3.4
合計	587	100.0

問5_2)重要なことを決めるとき、他の人の判断に頼る。

	n	%
全くあてはまらない	90	15.3
あまりあてはまらない	176	29.8
どちらともいえない	252	42.7
かなりあてはまる	53	9.0
よくあてはまる	19	3.2
合計	590	100.0

問5_3)他の人と一緒に時間を過ごすのはうれしい。

	n	%
全くあてはまらない	21	3.6
あまりあてはまらない	63	10.7
どちらともいえない	263	44.5
かなりあてはまる	163	27.6
よくあてはまる	81	13.7
合計	591	100.0

問5_4)自分の生き方や性格をそのまま受け入れることができる。

	n	%
全くあてはまらない	36	6.1
あまりあてはまらない	115	19.5
どちらともいえない	303	51.3
かなりあてはまる	101	17.1
よくあてはまる	36	6.1
合計	591	100.0

問5_5)自分がどんな人生を送りたいかはっきりしている。

	n	%
全くあてはまらない	57	9.7
あまりあてはまらない	120	20.4
どちらともいえない	277	47.2
かなりあてはまる	88	15.0
よくあてはまる	45	7.7
合計	587	100.0

問5_6)新しいことに挑戦して、新たな自分を発見するのは楽しい。

	n	%
全くあてはまらない	59	10.1
あまりあてはまらない	114	19.4
どちらともいえない	287	48.9
かなりあてはまる	92	15.7
よくあてはまる	35	6.0
合計	587	100.0

問5_7)うまく周囲の環境に適応して、自分を生かすことができる。

	n	%
全くあてはまらない	45	7.6
あまりあてはまらない	122	20.6
どちらともいえない	309	52.1
かなりあてはまる	85	14.3
よくあてはまる	32	5.4
合計	593	100.0

問5_8)あたたかく信頼できる友人関係を築いている。

	n	%
全くあてはまらない	44	7.4
あまりあてはまらない	106	17.9
どちらともいえない	239	40.3
かなりあてはまる	138	23.3
よくあてはまる	66	11.1
合計	593	100.0

問5_9)自分のまわりでおこった問題に柔軟に対応できる。

	n	%
全くあてはまらない	32	5.4
あまりあてはまらない	86	14.6
どちらともいえない	301	51.1
かなりあてはまる	136	23.1
よくあてはまる	34	5.8
合計	589	100.0

問5_10)いつも生きる目標を持ち続けている。

	n	%
全くあてはまらない	38	6.4
あまりあてはまらない	108	18.3
どちらともいえない	251	42.5
かなりあてはまる	133	22.5
よくあてはまる	60	10.2
合計	590	100.0

問5_11)なにか決めるとき、世間からどう見られているか気になる。

	n	%
全くあてはまらない	41	6.9
あまりあてはまらない	135	22.8
どちらともいえない	273	46.2
かなりあてはまる	109	18.4
よくあてはまる	33	5.6
合計	591	100.0

問5_12)自分自身に満足している。

	n	%
全くあてはまらない	71	12.1
あまりあてはまらない	149	25.4
どちらともいえない	293	49.9
かなりあてはまる	61	10.4
よくあてはまる	13	2.2
合計	587	100.0

問6_1) 自然に親しむ機会は、

	n	%
とても増えた	31	5.2
少し増えた	102	17.0
変わらない	105	17.5
少し減った	104	17.4
とても減った	257	42.9
合計	599	100.0

問6_2) 好きな食べ物を食べる機会は、

	n	%
とても増えた	19	3.2
少し増えた	93	15.6
変わらない	245	41.2
少し減った	137	23.0
とても減った	101	17.0
合計	595	100.0

問6_3) 気心の知れた友人・知人と話をする機会は、

	n	%
とても増えた	24	4.0
少し増えた	80	13.4
変わらない	111	18.5
少し減った	152	25.4
とても減った	232	38.7
合計	599	100.0

問6_4) 家族との団らんを楽しむ機会は、

	n	%
とても増えた	10	1.7
少し増えた	52	8.8
変わらない	179	30.2
少し減った	107	18.0
とても減った	245	41.3
合計	593	100.0

問6_5) 自由にお買物をする機会は、

	n	%
とても増えた	35	5.9
少し増えた	128	21.4
変わらない	229	38.3
少し減った	102	17.1
とても減った	104	17.4
合計	598	100.0

問6_6) 自分から積極的に活動することは、

	n	%
とても増えた	13	2.2
少し増えた	91	15.3
変わらない	211	35.5
少し減った	142	23.9
とても減った	137	23.1
合計	594	100.0

問6_7) 身体を動かすことは、

	n	%
とても増えた	16	2.7
少し増えた	63	10.6
変わらない	110	18.6
少し減った	144	24.3
とても減った	259	43.8
合計	592	100.0

問7_①浪江町に住んでいたとき(震災前)の知り合いや友人と連絡をとっていますか。

	n	%
ほとんどとっていない	93	26.0
少しとっている	216	60.3
かなりとっている	19	5.3
よくとっている	30	8.4
合計	358	100.0

問7_②仮設内で行われる行事(体操、演芸、カラオケ、食事会など)に参加しますか。

	n	%
ほとんど参加しない	97	26.6
少し参加する	158	43.4
かなり参加する	41	11.3
よく参加する	68	18.7
合計	364	100.0

問7_③仮設住宅の外へ出かけることがありますか。

	n	%
ほとんど外出しない	16	4.4
時々外出する	210	57.5
かなり外出する	95	26.0
頻繁に外出する	44	12.1
合計	365	100.0

問7_④仮設住宅がある地域の住民が、仮設住宅に住む人たちのことをどのように思っているか、気になりますか。

	n	%
まったく気にならない	68	18.6
少し気になる	204	55.9
かなり気になる	59	16.2
非常に気になる	34	9.3
合計	365	100.0

問7_⑤_1)「なかよし号」が運行していることをご存じでしたか。

	n	%
知っている	43	12.6
知らなかった	298	87.4
合計	341	100.0

問7_⑤_2)「なかよし号」の利用会員になっていますか。

	n	%
会員になっている	9	10.7
会員になっていない	75	89.3
合計	84	100.0

問7_⑤_3) (1病院)「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけたか。

	n	%
あてはまらない	156	94.0
あてはまる	10	6.0
合計	166	100.0

問7_⑤_3) (2買い物)「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけたか。

	n	%
あてはまらない	161	97.0
あてはまる	5	3.0
合計	166	100.0

問7_⑤_3) (3親戚・知人宅)「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけたか。

	n	%
あてはまらない	165	99.4
あてはまる	1	0.6
合計	166	100.0

問7_⑤_3) (4その他)「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけたか。

	n	%
あてはまらない	163	98.2
あてはまる	3	1.8
合計	166	100.0

問7_⑤_3) (5利用していない)「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけたか。

	n	%
あてはまらない	155	93.9
あてはまる	10	6.1
合計	165	100.0

問7_⑤_4) (1自分の車)「なかよし号」を利用していない理由

	n	%
あてはまらない	138	72.6
あてはまる	52	27.4
合計	190	100.0

問7_⑤_4) (2用事がない)「なかよし号」を利用していない理由

	n	%
あてはまらない	184	96.8
あてはまる	6	3.2
合計	190	100.0

問7_⑤_4) (3気遣い)「なかよし号」を利用していない理由

	n	%
あてはまらない	185	97.4
あてはまる	5	2.6
合計	190	100.0

問7_⑤_4) (4その他)「なかよし号」を利用していない理由

	n	%
あてはまらない	184	96.3
あてはまる	7	3.7
合計	191	100.0

問7_⑥NPO法人JINが杉内仮設住宅内で実施しているデイケアに参加していますか。

	n	%
参加していない	292	94.8
時々参加する	7	2.3
よく参加している	9	2.9
合計	308	100.0

問7_⑦浪江町のご自宅に、どれくらいの頻度に戻っていますか。

	n	%
戻っていない	51	14.9
2、3ヶ月に1度	166	48.5
1ヶ月に1度	117	34.2
1週間に1度	8	2.3
合計	342	100.0

問7_⑧将来(仮設住宅を出た後)、居住を希望する場所はどちらですか。

	n	%
現在の自宅	39	11.1
浪江町他の場所	14	4.0
浪江町以外(福島県内)	154	44.0
福島県以外	11	3.1
まだ決めていない	132	37.7
合計	350	100.0

問8_(1) 仮設住宅に住む家族・友人・知人を尋ねていくことがありますか。

	n	%
ほとんど行かない	54	32.9
たまに行く	94	57.3
よく行く	13	7.9
頻繁に行く	3	1.8
合計	164	100.0

問8_(2) 町役場からの情報を十分に受け取っていますか。

	n	%
とても不足している	11	6.7
やや不足している	54	32.9
ほぼ十分	82	50.0
十分	17	10.4
合計	164	100.0

問8_(3) 同じ地域の借り上げ住宅に住む人(浪江町民)と交流がありますか。

	n	%
まったくない	22	13.3
少しある	112	67.9
かなりある	23	13.9
非常にある	8	4.8
合計	165	100.0

問8_(4) 地域の人々(浪江町民以外の人)との交流がありますか。

	n	%
まったくない	44	26.5
少しある	106	63.9
かなりある	13	7.8
非常にある	3	1.8
合計	166	100.0

問8_(5) 浪江町のご自宅に、どれくらいの頻度で戻っていますか。

	n	%
戻っていない	17	11.0
2、3ヶ月に1度	68	43.9
1ヶ月に1度	61	39.4
1週間に1度	9	5.8
合計	155	100.0

問8_(6) 将来、居住を希望する場所はどちらですか。

	n	%
現在の自宅	37	23.0
浪江町の他の場所	6	3.7
浪江町以外(福島県内)	66	41.0
福島県以外	7	4.3
まだ決めていない	45	28.0
合計	161	100.0

問9 現在困っていることや不満に感じることはありません、どのようなことでも結構ですので、以下にお書きください(自由記述回答)。

	n	%
記述なし	343	56.6
記述あり	263	43.4
合計	606	100.0

問10 避難生活をされている中で、とくに「楽しみにしていること」「生きがいを感じる事」がありましたら、以下にお書きください。ご自身の趣味やその他の活動、身の回りの出来事、何でも結構です(自由記述回答)。

	n	%
記述なし	411	67.8
記述あり	195	32.2
合計	606	100.0

問10 * 記述内容として、「楽しみにしていること」「生きがいを感じる事」についての記述

	n	%
記述なし(それ以外の記述)	34	17.4
記述あり	161	82.6
合計	195	100.0

問11 性別

	n	%
男性	276	50.2
女性	274	49.8
合計	550	100.0

問11 年齢

	n	%
20代	5	0.9
30代	9	1.6
40代	33	5.9
50代	83	15.0
60代	188	33.9
70代	168	30.3
80歳以上	69	12.4
合計	555	100.0

アンケート調査へのご協力をお願い

浪江町民の皆さまには、地震や原発災害で多大な被害を受け、さらに避難では多くのご苦勞をされていることに心よりお見舞い申し上げます。

大震災から約3年が過ぎましたが、この間、なみえ復興塾、まちづくりNPO 新町なみえ、早稲田大学都市・地域研究所などが協力して、町役場とともに復旧・復興まちづくりに向けた活動を積み重ねてきました。

こうした活動の一環として、私たちは、独立行政法人科学技術振興機構(JST)から補助を受けたプロジェクト『広域避難者による多居住・分散型ネットワーク・コミュニティ』のもと、仮設住宅や借り上げ住宅で生活されている浪江町の方々にお話を伺い、避難生活が人々の心や身体に与える影響について検討しております。

このたび、さらに多くの町民の方々の現在のご様子をうかがって今後の復興に生かすために、アンケート調査を実施させていただくことになりました。長期の避難生活が続いている方々の心と身体の状態を心理学的な観点から明らかにすることは、みなさまにとってよりよい復興を考えるための基礎資料となるだけでなく、大震災を直接経験していない多くの人々に皆さまの考えを知ってもらう機会ともなります。

このアンケートにはお名前を書く必要はなく、データは一括して統計的に処理されますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。アンケートの結果は、復興を考えるための基礎資料とするほか、関連する学会等で報告させていただくこともあります。これらの点についてご了承の上、ご協力に同意いただける場合には、次ページからのアンケート項目にご記入ください。

浪江町の復興、また今後のさまざまな災害時の支援の参考のために、よろしくご協力を頂きますようお願い申し上げます。

東洋大学社会学部社会心理学科・安藤清志研究室
まちづくりNPO 新町なみえ
早稲田大学都市・地域研究所(所長・佐藤滋)

*お問い合わせは以下にお願いいたします。

東洋大学社会学部社会心理学科 安藤清志

メール: ando@toyo.jp

携帯: 090-3543-3959

当てはまるところに○をつけてご回答をお願いいたします。

1. 仮設住宅 問1(2)へお進みください。

2. 借り上げ住宅、公営住宅、公務員宿舎（家賃無償）
3. 民間賃貸、公営住宅（家賃有償、賠償対象）
4. 実家、親戚、知人宅
5. 自己所有（持ち家）
6. その他（

(1) 現在お住まいになっている住宅がある市町村を教えてください。

- | | | | |
|------------|----------|---------|---------|
| 1. 二本松市 | 2. 福島市 | 3. いわき市 | 4. 南相馬市 |
| 5. 相馬市 | 6. 郡山市 | 7. 本宮市 | 8. 桑折市 |
| 9. 福島県内その他 | 10. 福島県外 | | |

————→ 【回答後、問2へお進みください。】

以下から、お住まいの仮設住宅の番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|------|--------------|-------------|------------|------------|
| 桑折町 | 1. 桑折駅前 | | | |
| 二本松市 | 2. 杉内多目的運動広場 | 3. 郭内公園 | 4. 塩沢農村広場 | |
| | 5. 岳下住民センター | 6. 旧平石小学校 | 7. 安達運動場 | |
| | 8. 建設技術学院跡 | 9. 杉田住民センター | 10. 杉田農村広場 | |
| | 11. 大平農村広場 | 12. 永田農村広場 | | |
| 本宮市 | 13. 石神第一 | 14. 石神第二 | 15. 栗木平 | 16. 小田部 |
| | 17. 和田石上 | 18. 高木 | 19. 恵向 | |
| 相馬市 | 20. 大野台第8 | | | |
| 川俣市 | 21. 八方内 | | | |
| 福島市 | 22. 笹谷東部 | 23. 南矢野目 | 24. 北幹線第一 | 25. 森合町 |
| | 26. しのぶ台 | 27. 宮代第一 | 28. 宮代第二 | 29. 旧佐原小学校 |

————→ 【回答後、問2へお進みください。】

【全員ご回答ください。】

問2. 大震災発生当時と発生前の状況についてお尋ねします。

(1) 震災発生当時のお住まいについてお尋ねします。

① お住まいだった地区(大字)を以下から選び、数字を○で囲んでください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-------------|---------|
| 1. 権現堂 | 2. 高瀬 | 3. 幾世橋 | 4. 北幾世橋 | 5. 棚塩 |
| 6. 請戸 | 7. 中浜 | 8. 両竹 | 9. 西台 | 10. 藤橋 |
| 11. 川添 | 12. 牛渡 | 13. 樋渡 | 14. 谷津田 | 15. 田尻 |
| 16. 小野田 | 17. 加倉 | 18. 刈宿 | 19. 酒田 | 20. 立野 |
| 21. 井出 | 22. 小丸 | 23. 大堀 | 24. 酒井 | 25. 末森 |
| 26. 室原 | 27. 津島 | 28. 南津島 | 29. 川房 | 30. 昼曾根 |
| 31. 下津島 | 32. 赤宇木 | 33. 羽附 | 34. その他 () | |

② お住まいの所有形態について、あてはまる数字を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） |
| 3. 民間賃貸住宅（アパート・マンションなど） | 4. 公営住宅 |
| 5. 社宅 | 6. その他 () |

③ 震災発生前、お住まいの住宅にはあなたを含めて何人がお住まいでしたか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-------|---------|-------|
| a. 1人（自分のみ） | b. 2人 | c. 3人 | d. 4人 |
| e. 5人 | f. 6人 | g. 7人以上 | |

(2) 震災発生当時の職業についてお尋ねします。

① 職業(就業形態)(○は1つ)

2つ以上もっていた場合は、主な収入源になっていたほうに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|--------------|------------|---------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員（事務） | 3. 会社員（労務） | 4. 団体職員 |
| 5. 公務員 | 6. パート・アルバイト | 7. 学生 | 8. 無職（退職者を含む） |
| 9. その他（具体的に： | | | ） |

② 公務員以外の仕事についていた方に、業種をお尋ねします。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|----------|--------|--------------|
| 1. 農業・畜産業 | 2. 林業 | 3. 漁業 | 4. 建設業 |
| 5. 製造業 | 6. 電気・ガス | 7. 運輸業 | 8. 卸・小売り・飲食、 |
| 9. その他（具体的に： | | ） | サービス業 |

(3) 震災発生前、浪江町に何年間住んでいらっしゃいましたか。

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| a. 5年以内 | b. 6～10年 | c. 11～20年 | d. 21～30年 |
| e. 31年～40年 | f. 41～50年 | g. 51年以上 | |

(4) 震災発生前、あなたの健康状態はいかがでしたか。

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 非常に悪かった | 2. 悪かった | 3. どちらともいえない |
| 4. 良かった | 5. 非常に良かった | |

(5) 全体的にみて、その当時、生活にどれくらい満足していましたか。

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1. 満足していなかった | 2. あまり満足していなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. 満足していた | 5. 非常に満足していた | |

(6) 浪江町のご自宅に住んでいたとき、あなたの周囲には、あなたに以下のことをしてくれた人、あるいは必要ならしてくれると思う人がいましたか？(○は1つずつ)

1) あなたの気分をなごませたり、くつろがせてくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

2) あなたがふだんやらなくてはならない用事を手伝ってくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

3) あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受けとめ、耳を傾けてくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

4) 身体の具合が思わしくないとき、面倒をみてくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

5) 困ったことやわからないことがあるとき、相談にのってくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

6) 必要なとき、あなたに物質的・金銭的な支援をしてくれる人が…

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. いなかった | 2. 一応いた | 3. 確かにいた |
|----------|---------|----------|

問3. 大震災による被害および避難についてお伺いします。

(1) 地震や津波で、ご自宅はどれくらいの被害を受けましたか？

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. ほとんど被害はなかった | 2. 少し被害を受けた |
| 3. かなり被害を受けた | 4. 非常に大きな被害を受けた |

(2) 家族や親戚の中に、亡くなった、または行方不明の方がいらっしゃいますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(3) 大震災(平成23年3月)で浪江町から避難された後、現在の住居に移られたのはいつ頃でしょうか？

平成（ ）年（ ）月

(4)現在の場所に移るまで何回転居されましたか？(避難所やホテルなどを含む)

() 回

問4. 以下では、現在の生活のご様子や、お気持ちについてお尋ねします。

(1) 現在お住まいの住宅には、あなたを含めて何人がお住まいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-------|---------|-------|
| a. 1人(自分のみ) | b. 2人 | c. 3人 | d. 4人 |
| e. 5人 | f. 6人 | g. 7人以上 | |

(2)現在、あなたの周囲には、あなたに以下のことをしてくれた人、あるいは必要ならしてくれると思う人がいますか。(○は1つずつ)

1) あなたの気分をなごませたり、くつろがせてくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

2) あなたがふだんやらなくてはならない用事を手伝ってくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

3) あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受けとめ、耳を傾けてくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

4) 身体の具合が思わしくないとき、面倒をみってくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

5) 困ったことやわからないことがあるとき、相談にのってくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

6) 必要なとき、あなたに物質的・金銭的な支援をしてくれる人が…

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. いない | 2. 一応いる | 3. 確かにいる |
|--------|---------|----------|

(3)この2～3週間のあなたの状態をふりかえって、次のそれぞれの項目について、一番近いと思われるものを選んでください。

a. 何かをする時にいつもより集中して………

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. できた | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. いつもよりできなかった | 4. 全くできなかった |

b. 心配事があって、よく眠れないようなことは………

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 全くなかった | 2. あまりなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

c. いつもより自分のしていることに生きがいを感じるものが………

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. あった | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. いつもよりなかった | 4. 全くなかった |

d. いつもより容易に物事を決めることが……

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. できた | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. できなかった | 4. 全くできなかった |

e. いつもストレスを感じたことが……

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 全くなかった | 2. あまりなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

f. 問題を解決できなくて困ったことが……

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 全くなかった | 2. あまりなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

g. 問題があったときに、いつもより積極的に解決しようとする……

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. できた | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. できなかった | 4. 全くできなかった |

h. いつもより気が重くて、憂鬱（ゆううつ）になることは……

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 全くなかった | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

i. 自信を失ったことは……

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 全くなかった | 2. あまりなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

j. 自分は役に立たない人間だと考えたことは……

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 全くなかった | 2. あまりなかった |
| 3. あった | 4. たびたびあった |

k. 一般的にみて、しあわせといつもより感じることは……

- | | |
|------------|-----------|
| 1. たびたびあった | 2. あった |
| 3. なかった | 4. 全くなかった |

l. いつもより日常生活を楽しく送ることが……

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. できた | 2. いつもと変わらなかった |
| 3. できなかった | 4. 全くできなかった |

(4) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 非常に悪い | 2. 悪い | 3. どちらともいえない |
| 4. 良い | 5. 非常に良い | |

(5) 全体的にみて、あなたは現在の生活にどれくらい満足していますか。

- | | | |
|------------|---------------|--------------|
| 1. 満足していない | 2. あまり満足していない | 3. どちらともいえない |
| 4. 満足している | 5. 非常に満足している | |

(6) 以下の文を読んで、あなた自身にいちばんあてはまるところをひとつ選んでください。

1) だいたいにおいて、私の人生は理想に近い。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. わりとそう思う | 5. とてもそう思う | |

2) 私の人生は、素晴らしい状態である。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. わりとそう思う | 5. とてもそう思う | |

3) 私は、人生に満足している。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. わりとそう思う | 5. とてもそう思う | |

(7) あなたは、次のそれぞれの文に示される気持ちを、どれくらいもっていますか。(○は1つずつ)

1) 浪江の子どもたちに、浪江の良さをもっと伝えたい。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

2) 浪江町での生活を取り戻すように、自分でも努力したい。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

3) 自分たちの経験を、後続く世代の人たちに伝えたい。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

4) 自分が経験した苦労は、浪江の子どもたちには味わわせたくない。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

5) 「自分は浪江町民なんだ」と実感する。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

6) 浪江町に愛着を感じる。

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. ない | 2. 少しある | 3. かなりある | 4. 非常にある |
|-------|---------|----------|----------|

問5. 以下の質問について、あなた自身にいちばんあてはまる数字を1つ選んで○をつけてください。

1) 新しい経験を積み重ねるのが楽しみだ。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

2) 重要なことを決めるとき、他の人の判断に頼る。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

3) 他の人と一緒に時間を過ごすのはうれしい。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

4) 自分の生き方や性格をそのまま受け入れることができる。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

5) 自分がどんな人生を送りたいかはっきりしている。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

6) 新しいことに挑戦して、新たな自分を発見するのは楽しい。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

7) うまく周囲の環境に適応して、自分を生かすことができる。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

8) あたたく信頼できる友人関係を築いている。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

9) 自分のまわりでおこった問題に 柔軟に対応できる。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

10) いつも生きる目標を持ち続けている。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

11) なにか決めるとき、世間からどう見られているか気になる。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |

12) 自分自身に満足している。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 2. あまりあてはまらない | 3. どちらともいえない |
| 4. かなりあてはまる | 5. よくあてはまる | |
-

問6. 現在の生活は、震災前の生活と比べて、どのように変化したでしょうか。

震災前の生活と比べて・・・

1) 自然に親しむ機会は、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

2) 好きな食べ物を食べる機会は、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

3) 気心の知れた友人・知人と話をする機会は、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

4) 家族との団らんを楽しむ機会は、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

5) 自由にお買い物をする機会は、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

6) 自分から積極的に活動することは、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

7) 身体を動かすことは、

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った | 5. とても減った | |

問7. 現在、仮設住宅にお住まいの方にお尋ねします。

————→【仮設住宅以外にお住まいの方は、問8.へお進みください。】

① 浪江町に住んでいたとき(震災前)の知り合いや友人と連絡をとっていますか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ほとんどとっていない | 2. 少しとっている |
| 3. かなりとっている | 4. よくとっている |

② 仮設内で行われる行事(体操、演芸、カラオケ、食事会など)に参加しますか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. ほとんど参加しない | 2. 少し参加する |
| 3. かなり参加する | 4. よく参加する |

③ 仮設住宅の外へ出かけることがありますか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 時々外出する |
| 3. かなり外出する | 4. 頻繁に外出する |

④ 仮設住宅がある地域の住民が、仮設住宅に住む人たちのことをどのように思っているか、気になりますか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. まったく気にならない | 2. 少し気になる |
| 3. かなり気になる | 4. 非常に気になる |

⑤ 杉内仮設住宅では、昨年4月から日常生活の移動を支援する「なかよし号」の実験的運行が開始されています。

1) 「なかよし号」が運行していることをご存じでしたか。

1. 知っている

2. 知らなかった



2) 「なかよし号」の利用会員になっていますか。 【⑥へお進みください。】

1. 会員になっている

2. 会員になっていない



【4）へお進みください。】

3) 【会員の方のみお答えください。】

「なかよし号」を使って、これまでどこに出かけましたか。(○はいくつでも)

1. 病院

2. 買物

3. 親戚・知人宅

4. その他 (

)

5. 利用していない



4) 【非会員の方、および3)で5.利用していない、と回答した方のみお答えください。】

「なかよし号」を利用していない理由について教えてください。(○はいくつでも)

1. 自分の（または家族の）車で外出することができるから。

2. 外出する用事が少ないから。

3. 何かと気遣いをしなければならないから。

4. その他 (

)

⑥ NPO法人JINが杉内仮設住宅内で実施しているデイケアに参加していますか。

1. 参加していない

2. 時々参加する

3. よく参加している

⑦ 浪江町のご自宅に、どれくらいの頻度で戻っていますか。

a. 戻っていない

b. 2, 3ヶ月に1度

c. 1ヶ月に1度

d. 1週間に1度

⑧ 将来(仮設住宅を出た後)、居住を希望する場所はどちらですか。

1. 現在の自宅

2. 浪江町の他の場所

3. 浪江町以外（福島県内）

4. 福島県以外

5. まだ決めていない

・その主な理由をお書きください。

—————→ 【問9. にお進みください。】

問8.【仮設住宅以外にお住まいの方にお尋ねします。】

(1) 仮設住宅に住む家族・友人・知人を尋ねていくことがありますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど行かない | 2. たまに行く |
| 3. よく行く | 4. 頻繁に行く |

(2) 町役場からの情報を十分に受け取っていますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても不足している | 2. やや不足している |
| 3. ほぼ十分 | 4. 十分 |

(3) 同じ地域の借り上げ住宅に住む人(浪江町民)と交流がありますか。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. まったくない | 2. 少しある |
| 3. かなりある | 4. 非常にある |

(4) 地域の人々(浪江町民以外の人)との交流がありますか。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. まったくない | 2. 少しある |
| 3. かなりある | 4. 非常にある |

(5) 浪江町のご自宅に、どれくらいの頻度で戻っていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| a. 戻っていない | b. 2, 3ヶ月に1度 |
| c. 1ヶ月に1度 | d. 1週間に1度 |

(6) 将来、居住を希望する場所はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-------------|----------------|
| 1. 現在の自宅 | 2. 浪江町の他の場所 | 3. 浪江町以外(福島県内) |
| 4. 福島県以外 | 5. まだ決めていない | |

・その主な理由をお書きください。

————→【次ページ 問9. にお進みください。】

問9. 現在困っていることや不満に感じることがありましたら、どのようなことでも結構ですので、以下にお書きください。

問10. 避難生活をされている中で、とくに「楽しみにしていること」「生きがいを感じること」がありましたら、以下にお書きください。ご自身の趣味やその他の活動、身の回りの出来事、何でも結構です。

問11. 最後に、性別と年齢についてご回答ください。
(それぞれ該当する番号に1つ○をつけてください)

[性別]	1. 男性	2. 女性			
[年齢]	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上		

質問は以上です。
アンケート調査へのご協力ありがとうございました。